

(様式第10)

厚生労働大臣
殿

令和 5 年 10 月 5 日
開設者名 国立大学法人新潟大学長 牛木 辰男

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地
氏名	国立大学法人新潟大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

新潟大学医歯学総合病院

3 所在の場所

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通1番町754番地
電話(025) 223 - 6161

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科					有		
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
○	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
「1呼吸器内科」及び「9感染症内科」にて提供される医療は「呼吸器・感染症内科」において、「4腎臓内科」及び「11リウマチ科」にて提供される医療は「腎・膠原病内科」において、「7内分泌内科」及び「8代謝内科」にて提供される医療は「内分泌・代謝内科」において提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「3乳腺外科」及び「7内分泌外科」にて提供される医療は「乳腺・内分泌外科」において提供している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	肝胆膵内科	3	腫瘍内科	4	形成・美容外科	5	リハビリテーション科
6	病理診断科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
64				763	827

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	372	296	532	看護補助者	15	診療エックス線技師	0
歯科医師	143	101	182.9	理学療法士	15	臨床検査技師	63
薬剤師	61	0	61	作業療法士	5	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	6	その他	0
助産師	31	0	0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	789	14	799.4	臨床工学士	23	医療社会事業従事者	11
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	6
歯科衛生士	21	3	23.3	歯科技工士	6	事務職員	212
管理栄養士	7	1	7.3	診療放射線技師	45	その他の職員	33

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	59	眼科専門医	14
外科専門医	40	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	6	放射線科専門医	18
小児科専門医	22	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	25
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	24
産婦人科専門医	28	救急科専門医	9
		合計	290

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (富田 善彦) 任年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成31年4月1日から、医療安全管理委員会(医療法施行規則に規定された医療安全管理委員会に該当)の委員長であり、新規医療技術等管理センター(医療法等施行規則に規定された高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等の担当部門に該当)のセンター長である。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	613.3 人	15.7 人	629.1 人
1日当たり平均外来患者数	1567.2 人	556.8 人	2124.1 人
1日当たり平均調剤数	2907		剤
必要医師数	161		人
必要歯科医師数	31		人
必要薬剤師数	38		人
必要(准)看護師数	412		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	610 ㎡	鉄筋コンクリート	病床数	27 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	48	㎡	病床数	3 床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積		116		㎡
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	臨床検査情報システム、搬送ライン一式、臨床化学自動分析装置、免疫検査自動分析装置、血糖・HbA1c分析装置、血液ガス分析装置、蛋白泳動装置、多項目自動血球計数装置、全自動血液凝固測定装置、全自動尿分析装置、全自動尿中有形成分分析装置、赤血球沈降速度測定装置、顕微鏡、試薬庫、純水製造装置、遠心機、検体保管庫、安全キャビネット、ドラフト		
細菌検査室	161 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物分類同定分析装置、同定薬剤感受性測定装置、血液培養自動分析装置、抗酸菌培養検査装置、核酸増幅装置、全自動遺伝子解析装置、顕微鏡、試薬庫、遠心機、検体保管庫、培養装置、安全キャビネット		
病理検査室	338 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動染色機、自動免疫染色機、蛍光顕微鏡、PCR 装置		
病理解剖室	221 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、クリオスタット、超低温フリーザー		
研究室	755 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等		
講義室	514 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	9 室	収容定員	303 人
図書室	99 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	5,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	88.6	%	逆紹介率	106.4	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		13,830 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19,475 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,395 人		
	D: 初診の患者の数		18,303 人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所長	○	医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
佐藤 信昭	新潟県立がんセンター 新潟病院 病院長		医療に係る安全管理に 関する識見を有する者	無	1
三部 正歳	りゅーと法律税務会計 事務所 所長(弁護士, 税理士)		法律に関する識見を有 する者	無	1
西田 眞吾	新潟大学理事(総務・財 務担当)		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	有	2
田代 文俊	新潟大学監事(業務監 査等担当)		医療を受ける者その他 医療従事者以外の者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
細胞診検体を用いた遺伝子検査	104
内視鏡的憩室隔壁切開術	3
先進医療の種類の合計数	2
取り扱い患者数の合計(人)	107

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロビドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法 全身性エリテマトーデス（初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。）	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫（初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。）	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
先進医療の種類の合計数	2
取扱い患者数の合計（人）	0

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	黄色靱帯骨化症	4
2	筋萎縮性側索硬化症	37	57	後縦靱帯骨化症	51
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	広範脊柱管狭窄症	8
4	進行性核上性麻痺	12	59	特発性大腿骨頭壊死症	91
5	パーキンソン病	80	60	下垂体性ADH分泌異常症	17
6	大脳皮質基底核変性症	7	61	下垂体性TSH分泌亢進症	3
7	ハンチントン病	1	62	下垂体性PRL分泌亢進症	14
8	神経有棘赤血球症	1	63	クッシング病	10
9	シャルコー・マリー・トウス病	3	64	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	37
10	重症筋無力症	164	65	下垂体前葉機能低下症	125
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	128	66	先天性副腎皮質酵素欠損症	18
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	21	67	先天性副腎低形成症	1
13	封入体筋炎	4	68	サルコイドーシス	122
14	クロウ・深瀬症候群	5	69	特発性間質性肺炎	28
15	多系統萎縮症	21	70	肺動脈性肺高血圧症	39
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	60	71	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	26
17	ライソゾーム病	14	72	リンパ管筋腫症	9
18	副腎白質ジストロフィー	7	73	網膜色素変性症	11
19	ミトコンドリア病	10	74	バッド・キアリ症候群	2
20	もやもや病	70	75	特発性門脈圧亢進症	3
21	プリオン病	2	76	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	39
22	進行性多巣性白質脳症	1	77	原発性硬化性胆管炎	2
23	HTLV-1関連脊髄症	3	78	自己免疫性肝炎	26
24	全身性アミロイドーシス	30	79	クローン病	162
25	遠位型ミオパチー	1	80	潰瘍性大腸炎	252
26	神経線維腫症	52	81	好酸球性消化管疾患	1
27	天疱瘡	27	82	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
28	膿疱性乾癬(汎発型)	16	83	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
29	高安動脈炎	33	84	クリオピリン関連周期熱症候群	1
30	巨細胞性動脈炎	5	85	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	8
31	結節性多発動脈炎	8	86	先天性ミオパチー	2
32	顕微鏡的多発血管炎	38	87	筋ジストロフィー	9
33	多発血管炎性肉芽腫症	37	88	脊髄空洞症	1
34	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	25	89	脊髄髄膜瘤	2
35	悪性関節リウマチ	9	90	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	3
36	バージャー病	1	91	前頭側頭葉変性症	1
37	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	92	限局性皮質異形成	1
38	全身性エリテマトーデス	344	93	レノックス・ガストー症候群	1
39	皮膚筋炎／多発性筋炎	134	94	ウェスト症候群	1
40	全身性強皮症	106	95	ラスマッセン脳炎	1
41	混合性結合組織病	46	96	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
42	シェーグレン症候群	21	97	スタージ・ウェーバー症候群	1
43	成人スチル病	15	98	結節性硬化症	8
44	再発性多発軟骨炎	6	99	先天性魚鱗癬	2
45	ベーチェット病	72	100	家族性良性慢性天疱瘡	1
46	特発性拡張型心筋症	77	101	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	33
47	肥大型心筋症	26	102	特発性後天性全身性無汗症	7
48	拘束型心筋症	1	103	マルファン症候群	7
49	再生不良性貧血	44	104	エーラス・ダンロス症候群	1
50	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5	105	ウィルソン病	4
51	特発性血小板減少性紫斑病	28	106	無脾症候群	2
52	血栓性血小板減少性紫斑病	2	107	プラダー・ウィリ症候群	1
53	原発性免疫不全症候群	8	108	22q11.2欠失症候群	2
54	IgA 腎症	34	109	修正大血管転位症	1
55	多発性嚢胞腎	45	110	完全大血管転位症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	三尖弁閉鎖症	3	166		
112	ファロー四徴症	2	167		
113	両大血管右室起始症	2	168		
114	アルポート症候群	2	169		
115	一次性ネフローゼ症候群	35	170		
116	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	171		
117	紫斑病性腎炎	4	172		
118	オスラー病	3	173		
119	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	4	174		
120	副甲状腺機能低下症	3	175		
121	偽性副甲状腺機能低下症	3	176		
122	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	177		
123	フェニルケトン尿症	3	178		
124	尿素サイクル異常症	2	179		
125	ポルフィリン症	1	180		
126	原発性高カイトロミクロン血症	1	181		
127	脳髄黄色腫症	1	182		
128	家族性地中海熱	3	183		
129	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1	184		
130	慢性再発性多発性骨髓炎	1	185		
131	強直性脊椎炎	35	186		
132	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	187		
133	骨形成不全症	1	188		
134	軟骨無形成症	1	189		
135	リンパ管腫症/ゴーム病	1	190		
136	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病	2	191		
137	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4	192		
138	後天性赤芽球癆	1	193		
139	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1	194		
140	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2	195		
141	総排泄腔遺残	2	196		
142	胆道閉鎖症	2	197		
143	IgG4関連疾患	15	198		
144	好酸球性副鼻腔炎	92	199		
145	進行性ミオクロームスてんかん	1	200		
146	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	1	201		
147	カルニチン回路異常症	1	202		
148	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1	203		
149	無虹彩症	4	204		
150	特発性多中心性キャッスルマン病	2	205		
151			206		
152			207		
153			208		
154			209		
155			210		
156			211		
157			212		
158			213		
159			214		
160			215		
161			216		
162			217		
163			218		
164			219		
165			220		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	150
合計患者数(人)	3,426

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・後発医薬品使用体制加算2
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算
・医師事務作業補助体制加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間配置加算	・精神科急性期医師配置加算
・看護補助加算	・地域医療体制確保加算
・療養環境加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料3
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・総合周産期特定集中治療室管理料
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・がん治療連携計画策定料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・糖尿病合併症管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料イ	・こころの連携指導料(Ⅰ)
・がん患者指導管理料ロ	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料ハ	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料ニ	・医療機器安全管理料1
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・禁煙治療補助システム指導管理加算
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・腎代替療法指導管理料	・遺伝学的検査
・一般不妊治療管理料	・染色体検査の注2に規定する基準
・生殖補助医療管理料1	・骨髄微小残存病変量測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・BRCA1/2遺伝子検査
・二次性骨折予防継続管理料3	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来放射線照射診療料	・先天性代謝異常症検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・連携充実加算	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ニコチン依存症管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・検体検査管理加算(IV)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・国際標準検査管理加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・遺伝カウンセリング加算	・乳房用ポジトロン断層撮影
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・CT撮影及びMRI撮影
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・冠動脈CT撮影加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・胎児心エコー法	・外傷全身CT加算
・ヘッドアップティルト試験	・心臓MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・乳房MRI撮影加算
・神経学的検査	・小児鎮静下MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・頭部MRI撮影加算
・黄斑局所網膜電図	・全身MRI撮影加算
・全視野精密網膜電図	・肝エラストグラフィ加算
・ロービジョン検査判断料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・コンタクトレンズ検査料1	・外来化学療法加算1
・内服・点滴誘発試験	・無菌製剤処理料
・口腔細菌定量検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・有床義歯咀嚼機能検査2のイ	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・精密触覚機能検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・睡眠時歯科筋電図検査	・摂食嚥下機能回復体制加算2(摂食機能療法)
・画像診断管理加算1	・がん患者リハビリテーション料
・画像診断管理加算3	・リンパ浮腫複合的治療料
・歯科画像診断管理加算1	・集団コミュニケーション療法料
・歯科画像診断管理加算2	・歯科口腔リハビリテーション料2
・ポジトロン断層撮影	・経頭蓋磁気刺激療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・認知療法・認知行動療法1	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・医療保護入院等診療料	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・多血小板血漿処置	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・硬膜外自家血注入	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・人工腎臓	・角膜移植術(内皮移植加算)
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・羊膜移植術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・手術用顕微鏡加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・口腔粘膜処置	・網膜再建術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
・歯科技工加算1及び2	・人工中耳植込術人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・センチネルリンパ節加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・皮膚移植術(死体)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・自家脂肪注入	・内喉頭筋肉注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・椎間板内酵素注入療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・補助人工心臓
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び肛腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・経皮的僧帽弁クリップ術	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・生体部分肝移植術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・同種死体肝移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・同種死体肺移植術、同種死体脾腎移植術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・同種死体腎移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体腎移植術	・歯根端切除手術の注3
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・レーザー機器加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・精巣内精子採取術	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療
・胎児輸血術及び臍帯穿刺	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・体外式模型人工肺管理料	・画像誘導密封小線源治療加算
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・病理診断管理加算2
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・口腔病理診断管理加算2
・輸血管理料Ⅱ	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血適正使用加算	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部門 8回 病理診断部門:解剖例 CPC 3回/生検例検討会 15 回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	8
	剖検率(%)	1.8

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
(AMED)運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出	小野寺 理	脳神経内科	520,000	補委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療 研究センター
(JST)病態層モデルの妥当性検討および臨床への応用	小野寺 理	脳神経内科	8,450,000	補委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
神経再生を誘導する末梢血単核球のエクソソーム	金澤 雅人	脳神経内科	3,000,000	補委	新潟県
水俣病、緑内障における各種角膜パラメータの視機能に与える影響の検討	福地 健郎	眼科	3,000,000	補委	新潟県
①基礎研究:聴覚伝導路を用いた感覚代行システムの開発と平衡リハビリテーションプログラムの作成 ②臨床研究:慢性めまい診断における視線追跡検査の意義	堀井 新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	3,000,000	補委	新潟県
(AMED) TREX1発現制御と老化関連分泌表現型(SASP)に着目した遺伝性脳小血管病:RVCLの病態解明	小野寺 理	脳神経内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の第Ⅱ相試験	小野寺 理	脳神経内科	105,300,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)培養自家骨膜細胞移植による広範囲顎骨再建の第Ⅰ相医師主導治験	永田 昌毅	高度医療開発センター	57,401,500	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)ステロイド全身療法により効果不十分であったスティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)患者を対象とするエタネルセプト療法	阿部 理一郎	皮膚科	39,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)ステロイド全身療法により効果不十分であったスティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)患者を対象とするエタネルセプト療法	阿部 理一郎	皮膚科	47,121,100	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
PS不良(PS 2-3)の進展型小細胞肺がん患者に対するカルボプラチン+エトポシド+デュルバルマブ療法の第Ⅱ相試験(NEJ045A)に関する統計解析的研究	田中 崇裕	臨床研究推進センター	550,000	補委	特定非営利活動法人North East Japan Study Group
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕性の向上に関する研究	関根 正幸	産科婦人科	972,000	補委	新潟県
(AMED)抗線維化・再生誘導剤の開発:臨床を見据えた肝硬変に対する間葉系幹細胞由来のエクソソームを用いた次世代治療法開発への基盤研究	寺井 崇二	消化器内科	19,500,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)「肺非結核性抗酸菌症に対する GM-CSF吸入療法」の開発に向けた特定臨床研究	菊地 利明	呼吸器・感染症内科・心療内科	38,870,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)子宮内膜ゲノム情報に基づいた子宮内膜症の病態解明と発症予測モデルの開発	吉原 弘祐	産科婦人科	15,600,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)血清エクソソーム内細菌・真菌成分のアレルギー疾患発症への関与の解明	阿部 理一郎	皮膚科	19,500,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)HPVワクチン有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	72,150,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)HPVワクチン有効性の評価のための大規模疫学研究	榎本 隆之	産科婦人科	74,100,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症を対象とした多施設共同前向きコホート研究による質の高い診療エビデンスの構築	池内 健	脳神経内科	11,700,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
(AMED)国際共同研究ネットワークによる家族性アルツハイマー病に関する多元的臨床データ収集とトランスレーショナル研究	池内 健	脳神経内科	12,090,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構

エイズ患者・HIV感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究	富原 圭	顎顔面口腔外科	2,400,000	補委	新潟県
関東・甲信越地方ブロックエイズ対策促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	25,540,000	補委	新潟県
エイズ治療拠点病院治療促進事業における調査研究事業	茂呂 寛	感染管理部	200,000	補委	新潟県
(AMED)認知症層別化のための体液バイオマーカー測定項目及び方法の標準化	池内 健	脳神経内科	8,000,000	補委	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
(AMED)薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	阿部 理一郎	皮膚科	2,990,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED)HTRA1関連脳小血管病における血管反応性異常の非侵襲的検出方法の開発	小野寺 理	脳神経内科	19,500,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED)認知症疾患コホートを活用したゲノム統合解析による認知症層別化と脳内病態メカニズムの解明	池内 健	脳神経内科	91,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED)国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	茂呂 寛	感染管理部	585,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
(AMED)再生医療等安全性確保法に従い実施される再生医療等臨床研究および再生医療等製品等の開発を目指す医師主導治験等を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの実現	寺井 崇二	消化器内科	4,420,000	補委	一般社団法人日本 再生医療学会
(AMED)子宮頸癌ⅠB期-ⅡB期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法の第Ⅲ相ランダム化比較試験	西野 幸治	産科婦人科	65,000	補委	静岡県立静岡がん センター
(AMED)認知症の発症に関わるアストロサイト機能不全分子の同定とメカニズムの解明	清水 宏	病理学分野	2,600,000	補委	国立研究開発法人 量子科学技術研究 開発機構
(AMED)新生児マスキング対象拡充のための疾患選定基準の確立	齋藤 昭彦	小児科	260,000	補委	国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター
(AMED)ヒト細胞加工製品の製造に向けたQbDに基づく管理戦略の構築と新たな核となるエコシステムの形成	寺井 崇二	消化器内科	10,000,000	補委	国立大学法人大阪 大学
(AMED)ヒト細胞加工製品の製造に向けたQbDに基づく管理戦略の構築と新たな核となるエコシステムの形成	寺井 崇二	消化器内科	20,000,000	補委	国立大学法人大阪 大学
(J-DREAMS)電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究	曽根 博仁	血液・内分泌・代謝内科	300,000	補委	国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター
(AMED)未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease (IRUD)):希少未診断に対する診断プログラムの開発に関する研究	池内 健	脳神経内科	3,510,000	補委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療 研究センター
(AMED)運動失調症の治療法開発を見据えた病型別前向き自然歴・バイオマーカーの確立	小野寺 理	脳神経内科	650,000	補委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療 研究センター
(AMED)全ゲノム解析による難治性卵巣がんの本態解明と新規治療標的の同定	吉原 弘祐	産科婦人科	390,000	補委	公益財団法人がん 研究会
J-CAT及びJ-CAT PRIMEを活用した純粋小脳型脊髄小脳変性症のヒストリカルデータの収集	小野寺 理	脳神経内科	143,000	補委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療 研究センター
HIV感染者等の長期療養体制構築に向けた調査研究	茂呂 寛	感染管理部	35,766,000	補委	新潟県
医師主導治験AMCAD試験の体制整備事業 (AMCAD試験:患者リクルート)	小野寺 理	脳神経内科	1,000,000	補委	国立研究開発法人 国立循環器病研究 センター
Li-Fraumeni症候群に対するがんサーベイランスプログラムの実行可能性と新規バイオマーカーを探索する多施設共同前方視的臨床試験	今村 勝	小児科	50,000	補委	特定非営利活動法 人日本小児がん研 究グループ (NPO JCCG)

(AMED)TDP-43のエキソトロンに注目した、その発現・凝集制御による、筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	須貝 章弘	脳神経内科	6,500,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
マクロファージの表現型に影響する細胞外基質 ラミニンの機能解析	吉羽永子	歯の診療科	3,800,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分 化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明	大倉直人	歯の診療科	2,404,927	補委	独立行政法人日本 学術振興会
膠芽腫に対する代謝リプログラミングおよび mTORを標的とした効果的薬物療法の確立	江田岳誉	薬剤部	1,000,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
臓器選択的ハイドロダイナミック遺伝子導入法 の新規膀胱癌遺伝子治療法への応用	上村颯也	消化器内科	600,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
次世代シーケンスを用いた致死性不整脈の 新たな原因遺伝子の探索	八木原伸江	第一内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
肺MAC症におけるバイオマーカーCXCL10の 有用性について	茂呂寛	感染管理部	900,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
血球吸着モデルを用いたLAM患者におけるシ ロリムス最適薬用量決定法の提案	田中崇裕	臨床研究推進セン ター	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
23Na-MRIを用いたネフローゼ症候群の病態生 理の解析	忒田亮平	腎・膠原病内科	900,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
新規リン代謝マーカー:ポリリン酸と腎臓病で増 悪する感染症の関連	山本卓	腎・膠原病内科	800,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
炎症性腸疾患に合併する大腸癌における遺伝 子変異に基づいた新しい診断・治療法の確立	中野麻恵	がんゲノム医療セン ター	400,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
膀胱癌患者の免疫微小環境における脂質メディ エーター分子の役割と臨床的意義	滝沢一泰	高次救命災害治療セ ンター	900,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
成人期脊柱変形の進行メカニズム～骨格筋減 少に着目した大規模コホート研究	渡邊慶	整形外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
早産児の消化管成熟に向けた治療戦略:肺 サーファクタントと胎脂を用いた動物実験	西島浩二	総合周産期母子医療 センター	800,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
単一細胞シーケンスを用いた卵巣類内膜癌 の発症機序の解明	安達聡介	総合周産期母子医療 センター	800,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御に よる長期骨量維持可能な骨増生法開発	秋葉奈美	冠・ブリッジ診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
顎変形症患者における鼻咽腔領域における気 道形態変化のシミュレーションモデルの考案	長谷部大地	口腔再建外科	600,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血 流調節による歯髄静的幹細胞賦活化の試み	大島邦子	小児歯科・障がい者 歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
自発性異常味覚の苦味の正体にせまる	船山さおり	加齢歯科診療室	1,200,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
子宮内胎児発育不全の発症予防を目的とした 遺伝子多型と嗜好品摂取との相互作用解析	能仲太郎	産科婦人科	500,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
同種造血細胞移植の再発率低下を目指したリ ハビリテーション法の確立	柴崎康彦	高密度無菌治療部	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会
安全で有効かつ、いつでも誰でも使えるCAR- NK細胞療法の新規開発	今村勝	小児科	1,300,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会

ALSのTDP-43病理多型を規定する遺伝的因子の探索	石原智彦	脳神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外小胞の臓器特異性に着目した視神経脊髄炎関連疾患の再発予測の確立	佐治越爾	神経内科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多系統萎縮症の3つの病態を反映し、早期診断を可能とするバイオマーカーの検討と確立	徳武孝允	神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ステロイドホルモンならびにペプチドホルモンによるうつ病難治化機序の解明	鈴木雄太郎	精神科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線治療における不確かさ要因を考慮した高精度線量評価システムの開発	棚邊哲史	放射線治療科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子導入によるラット胆管癌モデルの確立と浸潤能評価による病態マーカー開発	五十嵐聡	光学医療診療部(消化器内科)	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
HGDラット膵癌モデルのエクソソームプロテオーム解析による膵癌バイオマーカー研究	林和直	消化器内科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
致死性の合併症であるIFALD予防を網羅した短腸症候群に対する新規細胞治療の確立	高橋良彰	小児外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
直腸癌化学放射線療法後の臨床的完全奏効に対する新規サーベイランス方法の確立	島田能史	消化器・一般外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変異シグネチャー解析による固形癌の塩基置換パターン分類の確立及び臨床的意義の解明	廣瀬雄己	第一外科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
良悪性中間群骨軟部腫瘍における免疫環境の解析と新規治療法の開発	生越章	魚沼地域医療教育センター準備室(整形外科)	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児腰痛の心理社会的要因および生活の質との関連性に関する研究	平野徹	魚沼地域医療教育センター	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
関節内の細胞外小胞体による局所恒常性維持の機序解明	目良恒	魚沼地域医療教育センター(整形外科)	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ABO血液型不適合腎移植における糖鎖アレイを用いた新規血液型抗体測定法の臨床応用	田崎正行	泌尿器科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん幹細胞と微小環境の相互作用を標的とした婦人科悪性腫瘍の新規治療法の探索	石黒竜也	産科婦人科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎による関節リウマチ発症・悪化機序の解明ー自己抗体の機能的糖鎖修飾の関与ー	小林哲夫	歯科総合診療科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発	秋葉陽介	義歯(冠・ブリッジ)診療室	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞外基質環境下における腫瘍特異的なCD73誘導低酸素応答性増殖機構の解明	丸山智	病理部(歯科担当)・歯科病理検査室	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ダイヤモンド電極法を用いた血中薬物濃度測定に基づくパゾパニブ服用患者の観察研究	齋木琢郎	腫瘍内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
不均一性の強い胃癌のHER2関連遺伝子異常を高精度に同定可能とする人工知能の開発	臼井賢司	消化器外科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
トランスオミクス解析によるがん細胞の放射線耐性応答ネットワーク解明	金光祥臣	臨床研究推進センター	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
経年変化とT波形評価に注目した成長期QT延長症候群の新たな診断基準の確立	鈴木博	小児科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

トリプルネガティブ乳癌における変異シグネチャー解析の臨床病理学的意義の解明	土田純子	腫瘍センター	2,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌の変異シグネチャーを予測するRadiogenomics解析法の確立	松本瑛生	消化器外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PTEN遺伝子変異による上皮間葉移行に着目した大腸癌の簇出・低分化胞巢の機序解明	田島陽介	消化器外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道癌術前化学療法の治療効果予測を目指したNQO1遺伝子多型の臨床的意義の解明	石川卓	医療情報部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌ゲノムデータを基にした免疫チェックポイント阻害剤治療効果関連因子の包括的評価	羽入隆晃	第一外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Radiogenomicsによる直腸癌側方リンパ節転移の高精度予測モデルの開発	中野雅人	第一外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いた複合性局所疼痛症候群の脊髄機序の解明	渡部達範	麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後疼痛における脊髄のシナプス可塑性変化の病態解明	大橋宣子	麻酔科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎癌オルガノイドによる治療薬選択最適化およびバイオマーカー探索の研究	富田善彦	泌尿器科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血小板とリンパ管内皮細胞の相互作用を標的にした新たなリンパ浮腫治療の開発	植木春香	形成外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マウス末梢神経損傷・再建術モデルを用いた機能回復機序の解明	若槻華子	形成外科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜細胞の機能性移植基材としてのRGDペプチドおよびDBMの有効性解析	永田昌毅	高度医療開発センター	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合－アクティブタッチの探索－	真柄仁	摂食嚥下機能回復部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
インプラント補綴後のインフラオクルージョンの機序の解明とリスク評価法の開発	荒井良明	顎口腔インプラント治療部	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム	佐藤由美子	言語治療室	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAFs)のTGF- β シグナルの解明	船山昭典	口腔再建外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となるのか?	伊藤加代子	口腔リハビリテーション科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明	金子昇	予防歯科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
セラミドによる免疫制御機構を応用した膵島移植における膵島生着延長の試み	小林隆	第一外科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
国内におけるパレコウイルスA3の前方視的疫学調査	相澤悠太	小児科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸髄損傷患者における3DAC画像を用いた軸索再生の可視化と臨床機能との相関解析	浦川貴朗	整形外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における肝細胞内のミトコンドリアDNAコピー数と機能評価	荒生祥尚	第三内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

早期再分極による心房性不整脈基質に関する多面的解析と新たな治療戦略の構築	長谷川祐紀	第一内科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
反復運動負荷による気道収縮と気道リモデリングのメカニズムについて	月岡啓輔	第二内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
グルコシルセラミド分子機構の乳癌免疫微小環境における役割と臨床的意義	諸和樹	消化器外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性痛における脊髄一大脳皮質神経活動連関とグリア細胞活性化制御の影響	番場景子	麻酔科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頸部内頸動脈狭窄症におけるブラーク破綻同定のバイオマーカー開発	安藤和弘	脳神経外科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
KRAS遺伝子変異を有する脳動静脈奇形の病態解明と分子標的治療の確立	齋藤祥二	脳神経外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
海馬硬化症のてんかん原性機構におけるGAP-43のリン酸化解析	岡田正康	脳神経外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ペントースリン酸経路を基軸とした卵巣がん幹細胞の治療抵抗性獲得機構の解明	山脇芳	総合周産期母子医療センター	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
マウス前庭野の同定と前庭障害後の前庭野の可塑性の評価	小本学	耳鼻咽喉・頭頸部外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
副甲状腺の自家蛍光を利用した探索システムの開発	高橋剛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自家培養骨膜を用いた骨欠損、骨露出部の治療戦略に関する基礎研究	浅倉辰則	形成・美容外科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光干渉式断層撮影を利用した培養口腔粘膜の非侵襲的、定量的品質評価方法の確立	鈴木絢子	小児歯科・障がい者歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索	江口香里	冠・ブリッジ診療科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内因性カンナビノイド機構の中核性制御に着目した神経障害性疼痛の新規治療戦略	上村藍太郎	矯正歯科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
モーションキャプチャ・システムを用いた歯科診療動作の定量的解析	中村太	総合臨床研修センター	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科治療におけるinvisible technical tipsの科学的分析	佐藤拓実	歯周病科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
単球の化学的分化転換を利用した生体内神経再生療法の確立	二宮格	脳神経内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
転移性脳腫瘍放射線治療後の認知機能予測指標の開発	中野智成	放射線診断科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
PNPLA4機能不全がもたらすミトコンドリア異常症及び乳児突然死の発症機序解明	入月浩美	小児科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝線維化・再生における肝細胞間密着接合の変化とその意義の解明	阿部寛幸	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TTF-1の網羅的エピゲノム解析に基づくEGFR-TKI耐性獲得機序の解明	穂苅諭	呼吸器・感染症内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗CD38抗体でのマクロファージ活性抑制を介した半月体形成糸球体腎炎の治療	大塚忠司	腎・膠原病内科学分野	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

重症薬疹の病態解明と新規バイオマーカーの開発	長谷川瑛人	皮膚科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症薬疹の早期バイオマーカー-galectin-7の迅速診断キットの開発と臨床応用	濱菜摘	皮膚科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
右室心筋におけるヒストン修飾因子「SF3B1」の発現傾向と心不全の可逆性	杉本愛	呼吸器外科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
XCL1発現に着目した卵巣成熟嚢胞性奇形腫悪性転化症例に対する新規治療戦略の構築	田村亮	産科婦人科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
組織選択的統合オミックス解析による子宮内膜症関連卵巣癌の病態解明と新規治療開発	須田一暁	総合周産期母子医療センター	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
SiC長繊維と短繊維を組み合わせた力学的等方性を持つ新規繊維強化型レジンの開発	高昇将	予防歯科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証	那小屋公太	摂食嚥下機能回復部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌運動と舌圧の同時計測による咀嚼時の舌機能評価	兒玉匠平	義歯診療科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咽喉頭酸逆流による嚥下誘発・咀嚼動態の変調およびTRPM8刺激による影響の検証	吉原翠	摂食嚥下機能回復部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索	高岡由梨那	総合臨床研修センター	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食後血糖値に対する咀嚼回数、唾液量およびアミラーゼ活性の影響	上原文子	義歯診療科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ラット下顎骨延長モデルを用いた進行性下顎頭吸収の予防・治療法の検討	須田大亮	口腔再建外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか	金丸博子(塚田博子)	歯科麻酔科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超音波エラストグラフィとドプラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立	新垣元基	顎顔面口腔外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食具を使用した捕食動作における口腔機能の発達過程を探索	中島努	小児歯科・障がい者歯科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔機能発達不全の“定量化”:エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立	高橋功次朗	矯正歯科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
わが国におけるドラッグラグの現状と課題	田中基嗣	臨床研究推進センター	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
TDP-43の伝播仮説の包括的検証ー上位運動神経から筋肉までの順行・逆行経路ー	坪口晋太郎	脳神経内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
タウオパチー細胞モデルを用いた異なるタウ分子種間における細胞間伝播の検討	石黒敬信	脳神経内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中エクソソームを用いた肝細胞癌化学療法の新たなバイオマーカー、治療法の開発	酒井規裕	消化器内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内視鏡治療後食道狭窄におけるステロイド徐放性組織接着型ハイドロゲルの有用性検証	中島尚	消化器内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆汁性硬化性胆管炎における制御性T細胞を介した病態制御機構の解明と治療方法の確立	木村成宏	消化器内科	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

PET-CTを用いた扁桃体活性の評価による致死性不整脈のリスク評価と予防法の解明	大槻総	循環器内科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エピゲノム解析によるIgA腎症の病態メカニズムの解明	渡辺博文	腎・膠原病内科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腹膜播種陽性胃癌の根治切除を目指した化学療法著効例の背景にある遺伝子異常の解明	加納陽介	光学医療診療部	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
プロポフォールの麻酔作用メカニズムの解明：青斑核からの電気生理学的検討	清野豊	手術部	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
NOとTRPM2受容体に着目した神経障害性疼痛初期の病態解明	大西毅	麻酔科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄後角ニューロンにおけるレミマゾラムの鎮痛効果およびその作用機序の解明	出口浩之	麻酔科	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
局所陰圧閉鎖療法を用いた手術部位感染予防における治療指標の探索	佐藤洋	魚沼地域医療教育センター	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性髄膜腫に対するSSTR2aを標的とした近赤外光線免疫療法の開発	小倉良介	脳神経外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
化学療法感受性規定因子SLFN11制御による膠芽腫新規治療法の開発	塚本佳広	脳神経外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊柱靱帯骨化症の骨化進展メカニズムと進展抑制に関する解析	勝見敬一	整形外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内膜症におけるKRAS変異の生物学的意義の解明	谷地田希	産科婦人科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
サイクリン依存性キナーゼ阻害に着目したPLOD2抑制による新規頭頸部癌治療開発	植木雄志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
IgG4関連眼疾患と眼窩MALTリンパ腫合併例の遺伝子および病理学的特徴の解析	大湊絢	手術部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光干渉断層血管造影を用いた虹彩新生血管の評価法開発と血管新生緑内障治療への応用	寺島浩子	眼科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
天然由来の菌特異的抗菌物質の応用による次世代型口腔ケアアプリケーションの開発	松岸葵	歯周病科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規足場材と培養骨膜細胞の併用による低侵襲かつ高効率な歯槽骨再生療法の開発	都野隆博	高度医療開発センター	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
培養骨膜シートの厚さと骨分化能の相関解析による非侵襲的骨膜シート品質管理法の確立	千川絵美	歯周病科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り	村上瞳(戸川瞳)	義歯診療科	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔感覚入力が咀嚼特性と嚥下動態に及ぼす変調効果の解明	鈴木拓	口腔リハビリテーション科	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顔面形成における細胞増殖活性の制御機構の解明	永井孝宏	総合臨床研修センター	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
顎矯正手術における主観的評価と客観的評価の融合の検討	原太一	口腔再建外科	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
舌乳頭発生における包括的制御機構の解明	藤田瑛	矯正歯科	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

口蓋裂一鼻部異常の発症メカニズムの解明	市川佳弥	矯正歯科	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
エナメル形成におけるライオニゼーションの解明	工藤武久	矯正歯科	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後呼吸器合併症予防のための包括的周術期呼吸ケア体制の確立	鈴木涼子	呼吸器・感染症内科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
角膜疾患治療に用いる口腔粘膜上皮細胞シートの特性解析と品質評価への応用展開	上野山敦士	顎顔面口腔外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂肪酸代謝を標的とした新たな癌免疫療法の開発	才田優	呼吸器・感染症内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メダカモデルを用いた分子標的薬の副作用の発症予測マーカーと予防法の新規開発	酒井規裕	消化器内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規腎近位尿管細胞マーカーACSM2の機能解明と臨床的有用性の検討	渡辺博文	腎・膠原病内科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
歯周炎病態形成における上皮TRPチャネルタンパクによるレドックス制御機構の解明	都野隆博	高度医療開発センター	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
表面での歯根膜再生を可能とする歯根破折歯修復用接着材料の新規適用法開発	浜谷桂佑	冠・ブリッジ診療科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新型コロナウイルス感染による舌味覚障害発生のメカニズム解明	山本徹	歯科麻酔科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋におけるエネルギー代謝調節分子を介した歯周炎抑制機能	高見澤圭	歯周病科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄間葉系幹細胞由来エクソソームによる新規骨再生療法の開発	竹内涼子	口腔再建外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞品質が担保された再生医療に用いる口腔粘膜上皮細胞の効率的増殖法の確立	千川絵美	歯周病科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔ピロリ菌は胃がんの原因となるか？磁気ビーズを用いたDNA解析による検索	永田量子	歯の診療科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
コストダウンと高機能化により費用対効果を向上させた新規培養真皮の開発	羽賀健太	口腔再建外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
軟部肉腫におけるNK細胞療法の開発	大池直樹	整形外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
白質脳症をきたす変異型TREX1によるDNA損傷毒性誘導機序とその抑制分子の解明	安藤昭一郎	脳神経内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
近赤外線自家蛍光粒子に着目した動脈硬化プラークの質的診断法および治療法の開発	池上龍太郎	循環器内科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血漿中抗Porphyromonas gingivalis抗体価は高血圧症の予測因子となりうるか？	星野剛志	予防歯科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
鎮痛薬としてのプレガバリンによる歯肉増殖症誘発の可能性の検討	山下萌	歯周病科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咀嚼行動は肥満発症と関連するか？ーレトロスペクティブスタディー	堀頌子	義歯診療科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3次元腸管オルガノイドを用いた歯周病原細菌ー腸管上皮相互作用の解明	峯尾修平	歯周病科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

食事エネルギー密度を活用した新たな糖尿病 栄養指導法の創出	武田安永	栄養管理部	1,100,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会
				補 委	

計 197件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ohashi, K; Ito, R; Koda, R 他	魚沼地域医療教育センター	Serum cytokine changes induced by direct hemoperfusion with polymyxin B-immobilized fiber in patients with acute respiratory failure	RESPIR INVESTIG.2022 JUL;60・4:585-594	Original Article
2	Suda, T; Sugimoto, A; Kanefuji, T 他	魚沼地域医療教育センター	Gravity assistance enables liver stiffness measurements to detect liver fibrosis under congestive circumstances	WORLD J HEPATOL.2022 APR 27;14・4:778-U155	Original Article
3	Fujita, Y; Mera, H; Watanabe, T 他	魚沼地域医療教育センター	Significantly earlier ambulation and reduced risk of near-falls with continuous infusion nerve blocks: a retrospective pilot study of adductor canal block compared to femoral nerve block in total knee arthroplasty	BMC MUSCULOSKEL DIS.2022 AUG 12;23・1:768	Original Article
4	Yoneoka, Y;	魚沼地域医療教育センター	Cottonoids (neurosurgical patties, neurosurgical pads, or micropatties) as effective instruments for safe and successful endoscopic transsphenoidal adenomectomy	ACTA NEUROCHIR.2022 DEC;164・12:3303-3310	Original Article

5	Watanabe, T; Kamimura, K; Shirahata, M 他	魚沼地域医療教育センター	Continuous ulnar nerve block at the forearm for early active mobilisation following flexor tendon reconstruction	ANAESTH REP.2022 JUL;10- 2:e12180	Original Article
6	Salazar, ARE; Kodama, Y; Yuki, R 他	顎顔面口腔外科	Occlusal Evaluation Using Modified Huddart and Bodenham Scoring System Following 2-Stage Palatoplasty With Hotz Plate: A Comparison Among 3 Different Surgical Protocols	CLEFT PALATE- CRAN J.:1055665622109 3293	Others
7	Nagai, T; Yamazaki, M; Nishikawa, A 他	顎顔面口腔外科	Rosai-Dorfman disease of the maxilla: A rare case report and literature review	J ORAL MAX SURG MED.2022 SEP;34-5:665-671	Review
8	Ominato, J; Oyama, T; Cho, H 他	眼科	Evaluation of the postoperative course of East Asian eyelid reconstruction with free tarsoconjunctival graft transplantation: A Japanese single-centre retrospective study	JPRAS OPEN.2022 SEP;33:6-16	Original Article
9	Ueki, S; Hasegawa, Y; Hatase, T 他	眼科	One-year recurrence rate of Graves ophthalmopathy presenting as diplopia in the primary position after varied doses of intravenous methylprednisolone followed by oral prednisolone with dosing based on the magnetic resonance imaging	JPN J OPHTHALMOL.20 23 JAN;67-1:91- 96	Original Article

10	Hanyu, T; Ueki, S; Hasegawa, Y 他	眼科	Posterior microphthalmos with achievement of good visual acuity and disappearance of papillomacular retinal folds: a case report	BMC OPHTHALMOL.20 22 NOV 7;22・ 1:424	Case Report
11	Okawa, J; Hori, K; Yoshimoto, T 他	義歯診療科	Retronasal aroma dynamics related to the swallowing threshold	J ORAL REHABIL.2023 JAN;50・1:69-75	Original Article
12	Hori, S; Hori, K; Yoshimura, S 他	義歯診療科	Masticatory Behavior Change with a Wearable Chewing Counter: A Randomized Controlled Trial	J DENT RES.2023 JAN;102・1:21-27	Original Article
13	Hatayama, C; Hori, K; Izuno, H 他	義歯診療科	Features of Masticatory Behaviors in Older Adults with Oral Hypofunction: A Cross- Sectional Study	J CLIN MED.2022 OCT;11・19:5902	Original Article
14	Ono, T; Kato, S; Kokubo, Y 他	義歯診療科	Tooth Loss Related with Prevalence of Metabolic Syndrome in a General Urban Japanese Population: The Suita Study	INT J ENV RES PUB HE.2022 MAY;19・11:6441	Original Article

15	Yoshimoto, T; Hasegawa, Y; Furihata, M 他	義齒診療科	Effects of Interval Walking Training on Oral Health Status in Middle-Aged and Older Adults: A Case-Control Study	INT J ENV RES PUB HE.2022 NOV;19•21:14465	Original Article
16	Murakami, K; Yoshimoto, T; Hori, K 他	義齒診療科	Masticatory Performance Test Using a Gummy Jelly for Older People with Low Masticatory Ability	J CLIN MED.2023 JAN;12•2:593	Original Article
17	Yoshimoto, T; Hasegawa, Y; Maria, MTS 他	義齒診療科	Effect of mandibular distal extension denture design on masticatory performance	J PROSTHODONT RES.:	Original Article
18	Hasegawa, Y; Sakuramoto, A; Suzuki, T 他	義齒診療科	Emotional modulation of cortical activity during gum chewing: A functional near-infrared spectroscopy study	FRONT NEUROSCI-SWITZ.2022 NOV 29;16:964351	Original Article
19	Tamakawa, T; Endoh, H; Kamimura, N 他	救急科	Impact on outcomes of measuring lactates prior to ICU in unselected heterogeneous critically ill patients: A propensity score analysis	PLOS ONE.2022 NOV 28;17•11:e0277948	Original Article

20	Kamimura, R; Hossain, MZ; Takahashi, K 他	矯正歯科	Attenuation of allodynia and microglial reactivity by inhibiting the degradation of 2-arachidonoylglycerol following injury to the trigeminal nerve in mice	HELIYON.2022 AUG;8・8:e10034	Original Article
21	Osawa, K; Nihara, J; Nishiyama, H 他	矯正歯科	A three-dimensional investigation of mandibular deviation in patients with mandibular prognathism	MAX PLAST RECONSTR S.2023 JAN 20;45・1:4	Original Article
22	Thant, L; Kakihara, Y; Kaku, M 他	矯正歯科	Involvement of Rab11 in osteoblastic differentiation: Its up-regulation during the differentiation and by tensile stress	BIOCHEM BIOPH RES CO.2022 OCT 8;624:16-22	Original Article
23	Sotsuka, Y; Wakatsuki, H; Matsuda, K	形成・美容外科	Schlieren Phenomenon for Identification of Lymphorrhea Point	PRS-GLOB OPEN.2022 APR;10・4:e4269	Original Article
24	Sone, H;	血液・内分泌・代謝内科	Recent updates in factors associated with incidence and screening of diabetic eye disease	J DIABETES INVEST.:	Others

25	Matsubayashi, Y; Yoshida, A; Suganami, H 他	血液・内分泌・代謝内科	Predictors of haemoglobin levels and of changes in these levels, focusing on anaemia and polycythaemia after administration of the sodium-glucose cotransporter-2 inhibitor tofogliflozin	DIABETES OBES METAB.2022 DEC;24・12:2469-2473	Letter
26	Watanabe, K; Hirayama, M; Arumugam, S 他	血液・内分泌・代謝内科	Effect of heat-moisture treated brown rice crackers on postprandial flow-mediated dilation in adults with mild endothelial dysfunction	HELIYON.2022 AUG;8・8:e10284	Original Article
27	Yaguchi, Y; Fujihara, K; Yamada, MH 他	血液・内分泌・代謝内科	Impact of Medication Adherence and Glycemic Control on the Risk of Micro- and Macrovascular Diseases in Patients with Diabetes	AM J MED.2022 APR;135・4:461-+	Original Article
28	Kato, K; Ishigami, T; Kobayashi, T 他	血液・内分泌・代謝内科	Relationship between changes in blood pressure from summer to winter and estimated 24-hour salt excretion using spot urine: the Niigata Wellness Study	HYPERTENS RES.2023 JAN;46・1:226-230	Original Article
29	Matsubayashi, Y; Fujihara, K; Yamada-Harada, M 他	血液・内分泌・代謝内科	Impact of metabolic syndrome and metabolic dysfunction-associated fatty liver disease on cardiovascular risk by the presence or absence of type 2 diabetes and according to sex	CARDIOVASC DIABETOL.2022 JUN 2;21・1:90	Original Article

30	Hatta, M; Horikawa, C; Takeda, Y 他	血液・内分泌・代謝内科	Association between Obesity and Intake of Different Food Groups among Japanese with Type 2 Diabetes Mellitus–Japan Diabetes Clinical Data Management Study (JDDM68)	NUTRIENTS.2022 AUG;14・15:3034	Original Article
31	Osawa, T; Fujihara, K; Yamada, MH 他	血液・内分泌・代謝内科	Association of the estimated glomerular filtration rate (eGFR) and/or proteinuria to predict the risk of initiation of dialysis in people with and without diabetes	DIABETOL INT.2023 JAN;14・1:86–93	Original Article
32	Shiozaki, H; Fujihara, K; Yamada– Harada, M 他	血液・内分泌・代謝内科	Fast walking and physical activity are independent contributors to improved physical function	FAM PRACT.2023 MAR 28;40・2:398–401	Original Article
33	Kobayashi, A; Fujihara, K; Yamada, MH 他	血液・内分泌・代謝内科	Combined effects of blood pressure and glycemic status on risk of heart failure: a population–based study	J HYPERTENS.2023 MAR;41・3:470–475	Original Article
34	Ogata, H; Aoki, N; Nagano, K 他	呼吸器・感染症内科	Factors associated with cytomegalovirus antigenemia in patients with rheumatic disease: A retrospective study	J INFECT CHEMOTHER.202 2 NOV;28・11:1471–1477	Original Article

35	Tsubokawa, F; Koya, T; Murai, Y 他	呼吸器・感染症内科	Effects of Benralizumab on Three-Dimensional Computed Tomography Analysis in Severe Eosinophilic Asthma	INT ARCH ALLERGY IMM.2023 MAR;184・3:243-251	Original Article
36	Shoji, S; Watanabe, S; Hanazawa, Y 他	呼吸器・感染症内科	Three non-small cell lung cancer patients who developed pulmonary thromboses during osimertinib treatment and could safely resume concomitant anticoagulation treatment: a report of three cases	TRANSL LUNG CANCER R.:	Others
37	Kushiro, K; Watanabe, S; Goto, Y 他	呼吸器・感染症内科	Efficacy and safety of amrubicin therapy after chemoimmunotherapy in small cell lung cancer patients	TRANSL LUNG CANCER R.2022 SEP;11・9:1858-1865	Original Article
38	Shoji, S; Miura, S; Watanabe, S 他	呼吸器・感染症内科	Phase II study of nanoparticle albumin-bound paclitaxel monotherapy for relapsed non-small cell lung cancer with patient-reported outcomes (NLCTG1302)	TRANSL LUNG CANCER R.2022 JUL;11・7:1359-+	Original Article
39	Nishiyama, Y; Koya, T; Nagano, K 他	呼吸器・感染症内科	Two cases of dupilumab-associated eosinophilic pneumonia in asthma with eosinophilic chronic rhinosinusitis: IL-5-driven pathology	ALLERGOL INT.2022 OCT;71・4:548-551	Letter

40	Watanabe, S; Sakai, K; Matsumoto, N 他	呼吸器・感染症内科	Phase II Trial of the Combination of Alectinib with Bevacizumab in Alectinib Refractory ALK-Positive Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer (NLCTG1501)	CANCERS.2023 JAN;15・1:204	Original Article
41	Fujito, N; Ohshima, Y; Hokari, S 他	呼吸器・感染症内科	The relationship between adherence to continuous positive airway pressure and nasal resistance measured by rhinomanometry in patients with obstructive sleep apnea syndrome	PLOS ONE.2023 MAR 15;18・3:	Original Article
42	Ito, K; Izumi, N; Funayama, S 他	口腔リハビリテーション科	Characteristics of medication-induced xerostomia and effect of treatment	PLOS ONE.2023 JAN 12;18・1:e0280224	Original Article
43	Endo, S; Niimi, K; Kato, Y 他	口腔再建外科	Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment	CRANIO.2022 Sep;13:1-11	Original Article
44	Mikami, T; Funayama, A; Niimi, K 他	口腔再建外科	Prognostic value of preoperative systemic inflammatory response as a prognostic indicator in patients with early-stage oral squamous cell carcinoma	MEDICINE.2022 Nov 4;101(44):e30855	Original Article

45	Kawaharada, M; Maruyama, S; Yamazaki, M 他	口腔再建外科	Clinicopathologic factors influencing the screening accuracy of oral cytology: A retrospective cohort study	Oncol Lett.2022 Sep;24(5):385	Original Article
46	Sugai, S; Yamawaki, K; Haino, K 他	産科婦人科	Unexpected uterine body placenta accreta spectrum with placenta previa in a subsequent pregnancy after uterine artery embolization: a case report	BMC PREGNANCY CHILDB.2022 SEP 13;22・1:706	Case Report
47	Shima, E; Itsukaichi, M; Yoshihara, K 他	産科婦人科	Fetal biometric and Doppler measurements following abdominal radical trachelectomy in the second trimester of the pregnancy	BMC PREGNANCY CHILDB.2022 APR 20;22・1:343	Original Article
48	Sekine, M; Nishijima, K; Nakagawa, S 他	産科婦人科	Challenges facing workstyle reform for Japanese obstetricians and gynecologists revealed from time studies	J OBSTET GYNAECOL RE.2022 JUL;48・7:1580-1590	Original Article
49	Tamura, R; Nakaoka, H; Yachida, N 他	産科婦人科	Spatial genomic diversity associated with APOBEC mutagenesis in squamous cell carcinoma arising from ovarian teratoma	CANCER SCI.:	Others

50	Sugai, S; Nishijima, K;	産科婦人科	Validating a calculator without race and ethnicity to predict vaginal birth after cesarean delivery	AM J OBSTET GYNECOL.2022 SEP;227・3:537-538	Letter
51	Sugai, S; Nishijima, K; Haino, K 他	産科婦人科	Pregnancy outcomes at maternal age over 45 years: a systematic review and meta-analysis	AM J OBST GYNEC MFM.2023 APR;5・4:100885	Review
52	Matsumoto, K; Jinbo, Y; Oda, K 他	産科婦人科	Relaxin improves blood pressure and fetal growth restriction in a murine model of nitric oxide synthase inhibitor-induced hypertensive disorders of pregnancy	HYPERTENS RES PREGNA.2023;11・1:1-15	Original Article
53	Sugai, S; Haino, K; Yamawaki, K 他	産科婦人科	Spontaneous healing of uterine rupture causing postpartum hemorrhage	EUR J OBSTET GYN R B.2022 JUL;274:255-257	Letter
54	Tamura, R; Yoshihara, K; Enomoto, T	産科婦人科	Therapeutic Strategies Focused on Cancer-Associated Hypercoagulation for Ovarian Clear Cell Carcinoma	CANCERS.2022 MAY;14・9:2125	Review

55	Sekine, M; Yamaguchi, M; Kudo, R 他	産科婦人科	Problems with catch-up HPV vaccination after resumption of proactive recommendations	LANCET ONCOL.2022 AUG;23・8:972- 973	Others
56	Sekine, M; Enomoto, T; Arai, M 他	産科婦人科	Differences in age at diagnosis of ovarian cancer for each BRCA mutation type in Japan: optimal timing to carry out risk-reducing salpingo-oophorectomy	J GYNECOL ONCOL.2022 JUL;33・4:e46	Original Article
57	Kudo, R; Sekine, M; Yamaguchi, M 他	産科婦人科	Effectiveness of human papillomavirus vaccine against cervical precancer in Japan: Multivariate analyses adjusted for sexual activity	CANCER SCI.2022 SEP;113・9:3211- 3220	Original Article
58	Takenaka, S; Sotozono, M; Ohkura, N 他	歯の診療科	Evidence on the Use of Mouthwash for the Control of Supragingival Biofilm and Its Potential Adverse Effects	ANTIBIOTICS- BASEL.2022 JUN;11・6:727	Review
59	Takenaka, S; Sotozono, M; Yashiro, A 他	歯の診療科	Efficacy of Combining an Extraoral High- Volume Evacuator with Preprocedural Mouth Rinsing in Reducing Aerosol Contamination Produced by Ultrasonic Scaling	INT J ENV RES PUB HE.2022 MAY;19・10:6048	Original Article

60	Noiri, Y; Nagata, R;	歯の診療科	Current status of gastric and oral infection/diseases caused by Helicobacter pylori	ORAL SCI INT.:	Review
61	Nagata, R; Sato, H; Takenaka, S 他	歯の診療科	Analysis of Genetic Relatedness between Gastric and Oral Helicobacter pylori in Patients with Early Gastric Cancer Using Multilocus Sequence Typing	INT J MOL SCI.2023 FEB;24・3:2211	Original Article
62	Ohkura, N; Yoshiba, K; Yoshiba, N 他	歯の診療科	SVCT2-GLUT1-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing	SCI REP-UK.2023 JAN 23;13・1:	Original Article
63	Kobayashi, T; Ito, S; Murasawa, A 他	歯科総合診療科	The serum immunoglobulin G titres against Porphyromonas gingivalis as a predictor of clinical response to 1-year treatment with biological disease-modifying antirheumatic drugs in rheumatoid arthritis patients: A retrospective cohort study	MOD RHEUMATOL.:	Others
64	Katsura, K; Tanabe, S; Nakano, H 他	歯科放射線科	The Relationship between the Contouring Time of the Metal Artifacts Area and Metal Artifacts in Head and Neck Radiotherapy	TOMOGRAPHY.2023 FEB;9・1:98-104	Original Article

65	Yamamoto, T; Koyama, Y; Ujita, T 他	歯科麻酔科	SARS-CoV-2 recombinant spike protein induces cell apoptosis in rat taste buds	J DENT SCI.2023 JAN;18・1:428-431	Original Article
66	Kishimoto, N; Sanuki, T; Liu, YA 他	歯科麻酔科	Simulation training for medical emergencies of dental patients: A review of the dental literature	JPN DENT SCI REV.2023 DEC;59:104-113	Review
67	Yamamoto, T; Koyama, Y; Imai, Y 他	歯科麻酔科	SARS-CoV-2 recombinant proteins-induced degeneration of taste buds in rat circumvallate papillae	J DENT SCI.2022 JUL;17・3:1450-1453	Original Article
68	Nakajima, M; Nakajima, N; Guo, JL 他	歯周病科	Engineering of bioactive nanocomplexes on dental floss for targeted gingival therapy	BIOENG TRANSL MED.2023 MAR;8・2:e10452	Original Article
69	Yamazaki, K; Miyauchi, E; Kato, T 他	歯周病科	Dysbiotic human oral microbiota alters systemic metabolism via modulation of gut microbiota in germ-free mice	J ORAL MICROBIOL.2022 DEC 31;14・1:2110194	Original Article

70	Lwin, HY; Aoki- Nonaka, Y; Matsugishi, A 他	歯周病科	Soybean peptide inhibits the biofilm of periodontopathic bacteria via bactericidal activity	ARCH ORAL BIOL.2022 OCT;142:105497	Original Article
71	Sirisereepha p, K; Maekawa, T; Tamura, H 他	歯周病科	Osteoimmunology in Periodontitis: Local Proteins and Compounds to Alleviate Periodontitis	INT J MOL SCI.2022 MAY;23· 10:5540	Review
72	Kai, R; Takahashi, K; Tainaka, K 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Cerebrocortical activation following unilateral labyrinthectomy in mice characterized by whole-brain clearing: implications for sensory reweighting	SCI REP-UK.2022 SEP 14;12· 1:15424	Original Article
73	Takahashi, T; Yamazaki, K; Shodo, R 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Actual prevalence of hypoparathyroidism after total thyroidectomy: a health insurance claims-database study	ENDOCRINE.2022 OCT;78·1:151- 158	Original Article
74	Ohshima, S; Ueki, Y; Yokoyama, Y 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Treatment outcomes of mucosal melanoma of head and neck: Efficacy of immune checkpoint inhibitors for advanced disease	FRONT SURG.2022 DEC 26;9:1032626	Original Article

75	Ota, H; Ueki, Y; Yamazaki, K 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Head and neck cancer fungating wounds: a novel odour transferrer	BMJ SUPPORT PALLIAT.:	Others
76	Takahashi, K; Morita, Y; Ogi, M 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Optimal Diagnostic Criteria and a Staging System for Otogenic Skull Base Osteomyelitis	J NEUROL SURG PART B.2022 JUN;83:E484- E491	Original Article
77	Takahashi, T; Takahashi, K; Horii, A	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Skull base osteomyelitis: a rare but life- threatening illness	LANCET INFECT DIS.2022 SEP;22· 9:1398-1398	Others
78	Yagi, C; Morita, Y; Yamagishi, T 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Gaze instability after exposure to moving visual stimuli in patients with persistent postural-perceptual dizziness	FRONT HUM NEUROSCI.2022 NOV 25;16:1056556	Original Article
79	Morita, Y; Kitazawa, M; Yagi, C 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Locations and Predictive Factors of Hypertrophic Pachymeningitis in Otitis Media With Antineutrophil Cytoplasmic Antigen- Associated Vasculitis	OTOL NEUROTOL.2022 SEP;43·8:E835- E840	Original Article

80	Otaki, K; Takahashi, T; Tanaka, R 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Chemoradiotherapy with 3-weekly CDDP 80 mg/m ² for head and neck squamous cell carcinoma: 5-year survival data from a phase 2 study	FRONT SURG.2022 DEC 16;9:1035349	Original Article
81	Sasaki, K; Kanda, T; Matsumoto, Y 他	腫瘍内科	Sunitinib therapy for imatinib-resistant and/or intolerant gastrointestinal stromal tumors: comparison of safety and efficacy between standard and reduced dosage regimens	JPN J CLIN ONCOL.2023 MAR 30;53・4:297-303	Original Article
82	Hayashi, Y; Shimizu, I; Yoshida, Y 他	循環器内科	Coagulation factors promote brown adipose tissue dysfunction and abnormal systemic metabolism in obesity	ISCIENCE.2022 JUL 15;25・7:104547	Original Article
83	Yoneyama, S; Ozaki, K; Kubota, N 他	循環器内科	Efficacy of angioscopy to evaluate guidewire position in mesh formation in balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension	CARDIOVASC INTERV TH.:	Others
84	Fujiki, S; Tanaka, A; Imai, T 他	循環器内科	Body fluid regulation via chronic inhibition of sodium-glucose cotransporter-2 in patients with heart failure: a post hoc analysis of the CANDLE trial	CLIN RES CARDIOL.2023 JAN;112・1:87-97	Original Article

85	Akiyama, T; Ozaki, K; Okubo, T 他	循環器内科	Left Main Coronary Artery Compression Syndrome Caused by Chronic Mitral Valve Disease	CIRC J.2023 MAR;87・3:467-467	Others
86	Akiyama, T; Okoshi, Y; Takano, T 他	循環器内科	Subendocardial Infarction in Severe Bicuspid Aortic Stenosis without Coronary Stenosis Confirmed by Contrast-enhanced Computed Tomography and Autopsy	INTERNAL MED.2023;62・8:1181-1183	Original Article
87	Ikami, Y; Izumi, D; Hasegawa, Y 他	循環器内科	The Risk of Ventricular Tachyarrhythmias in Patients with Antimitochondrial Antibodies-Related Noncardiac Diseases	INT HEART J.2022 MAY;63・3:476-485	Original Article
88	Saitoh, O; Kasai, T; Fuse, K 他	循環器内科	Impedance-decline-guide power control long application time bipolar radiofrequency catheter ablation	J CARDIOVASC ELECTR.2022 DEC;33・12:2538-2545	Original Article
89	Saitoh, O; Kasai, T; Fuse, K 他	循環器内科	Distribution of excitation recoverable myocardium after radiofrequency ablation and its relation to energy application time and irrigation	J CARDIOVASC ELECTR.:	Others

90	Tachikawa, J; Aizawa, Y; Shimotsuma, T 他	小児科	Multiple pneumatoceles and lung abscesses caused by early-onset E. coli sepsis in a preterm neonate	J INFECT CHEMOTHER.2023 APR;29・4:414-417	Original Article
91	Aizawa, Y; Imai, C; Saitoh, A	小児科	Time Course of Conical Teeth in Anhidrotic Ectodermal Dysplasia with Immunodeficiency	J CLIN IMMUNOL.2022 AUG;42・6:1168-1170	Letter
92	Sonoda, K; Kaneko, U; Hiura, M 他	小児科	Short stature as an initial presenting presentation of unicentric Castleman disease in a child: A case report with long-term follow-up and a literature review	MOD RHEUMATOL CASE.:	Others
93	Aizawa, Y; Takanashi, S; Ogimi, C	小児科	Updates on Coronavirus Disease 2019 in Children in Japan	PEDIATR INFECT DIS J.2022 NOV;41・11:E461-E467	Review
94	Watanabe, K; Suzuki, H; Jiang, MZ 他	小児科	Soluble LR11 as a Novel Biomarker in Acute Kawasaki Disease	CIRC J.2022 JUN;86・6:977-983	Original Article

95	Fukahori, K; Yamato, K; Saitu, H 他	小児科	PORCN-related microphthalmia with limb anomalies: Case report and literature review	AM J MED GENET A.2023 FEB;191・2:636- 639	Letter
96	Hiroshima, S; Taniguchi, C; Inoue, M 他	小児科	Two cases of 22q11.2 deletion syndrome with decreased serum calcium during recovery following thyrotoxicosis	CONGENIT ANOM.2022 NOV;62・6:254- 255	Others
97	Aizawa, Y; Kasamatsu, T; Nagasawa, K 他	小児科	Molecular Evolution and Epidemiology of Parechovirus-A3 in Japan, 1997-2019	J INFECT DIS.2023 JAN 11;227・2:288-294	Original Article
98	Ikuse, T; Aizawa, Y; Shobukawa, Y 他	小児科	Household Secondary Transmission of the Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 Alpha Variant From a Community Cluster in a Nursery in Japan	PEDIATR INFECT DIS J.2022 SEP;41・9:E358- E364	Original Article
99	Murayama, Y; Kasahara, Y; Kubo, N 他	小児科	NKp44-based chimeric antigen receptor effectively redirects primary T cells against synovial sarcoma	TRANSL ONCOL.2022 NOV;25:101521	Original Article

100	Arai, Y; Kinoshita, Y; Kobayashi, T 他	小児外科	A rare case of eosinophilic gastrointestinal disorders with short bowel syndrome after strangulated bowel obstruction	SURG CASE REP.2022 SEP 14;8・1:168	Case Report
101	Takahashi, Y; Kinoshita, Y; Kobayashi, T 他	小児外科	The usefulness of OK-432 for the treatment of postoperative chylothorax in a low-birth-weight infant with trisomy 18	CLIN CASE REP.2022 MAY;10・5:e05844	Original Article
102	Motegi, D; Ichikawa, H; Bamba, T 他	消化器外科	Ulcer Scarring in the Gastric Conduit Is a Risk Factor for Anastomotic Leakage After Esophagectomy for Esophageal Cancer	J GASTROINTEST SURG.2023 FEB;27・2:250-261	Original Article
103	Kano, Y; Ichikawa, H; Hanyu, T 他	消化器外科	Conversion surgery for stage IV gastric cancer: a multicenter retrospective study	BMC SURG.2022 DEC 14;22・1:428	Original Article
104	Moro, K; Nagahashi, M; Uchida, H 他	消化器外科	Advanced Stage Is a Risk for Severe Neutropenia in Breast Cancer Patients Undergoing Neoadjuvant Adriamycin/Cyclophosphamide/Docetaxel Chemotherapy	WORLD J ONCOL.2022 DEC;13・6:379-386	Original Article

105	Shimada, Y; Nakano, M; Mizuno, KI 他	消化器外科	Gene panel testing detects important genetic alterations in ulcerative colitis-associated colorectal neoplasia	ONCOL LETT.2022 DEC;24•6:442	Original Article
106	Tsuchiya, A; Natsui, K; Ishii, Y 他	消化器内科	Small extracellular vesicles and liver diseases: From diagnosis to therapy	WORLD J HEPATOL.2022 JUL 27;14•7:1307-1318	Review
107	Morita, S; Sakamaki, A; Koyama, K 他	消化器内科	Daisaikoto improves fatty liver and obesity in melanocortin-4 receptor gene-deficient mice via the activation of brown adipose tissue	SCI REP-UK.2022 JUN 16;12•1:10105	Original Article
108	Jimbo, R; Arao, Y; Tsuchiya, A 他	消化器内科	Two rare pancreatic parenchymal hemorrhagic lesions associated with acute pancreatitis in acute liver failure: a case report and literature review	CLIN J GASTROENTERO L.2023 APR;16•2:254-262	Review
109	Ohkoshi-Yamada, M; Kamimura, K; Kimura, A 他	消化器内科	Effects of a selective PPARα modulator, sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor, and statin on the myocardial morphology of medaka nonalcoholic fatty liver disease model	BIOCHEM BIOPH RES CO.2022 OCT 15;625:116-121	Original Article

110	Sato, H; Shimamura, Y; Tanaka, S 他	消化器内科	Reply: Need for evidence on surveillance endoscopy in achalasia- related Barret esophagus and adenocarcinoma in Asian population	J GASTROENTERO L.2022 OCT;57- 10:813-814	Letter
111	Shibata, O; Kamimura, K; Tanaka, Y 他	消化器内科	Establishment of a pancreatic cancer animal model using the pancreas-targeted hydrodynamic gene delivery method	MOL THER-NUCL ACIDS.2022 JUN 14;28:342-352	Original Article
112	Horigome, R; Kamimura, K; Niwa, Y 他	消化器内科	Involvement of DNA Damage Response via the Ccndbp1-Atm-Chk2 Pathway in Mice with Dextran-Sodium- Sulfate-Induced Colitis	J CLIN MED.2022 JUL;11-13:3674	Original Article
113	Sato, C; Takahashi, K; Sato, H 他	消化器内科	Endoscopic Findings and Treatment of Gastric Neoplasms in Familial Adenomatous Polyposis	J GASTRIC CANCER.2022 OCT;22-4:381- 394	Original Article
114	Tsuchiya, A; Terai, S; Horiguchi, I 他	消化器内科	Basic points to consider regarding the preparation of extracellular vesicles and their clinical applications in Japan	REGEN THER.2022 DEC;21:19-24	Review

115	Sato, H; Fujiyoshi, Y; Abe, H 他	消化器内科	Development of Dilated Esophagus, Sigmoid Esophagus, and Esophageal Diverticulum in Patients With Achalasia: Japan Achalasia Multicenter Study	J NEUROGASTROE ENTEROL.2022 APR;28•2:222–230	Original Article
116	Sakai, N; Kamimura, K; Miyamoto, H 他	消化器内科	Letrozole ameliorates liver fibrosis through the inhibition of the CTGF pathway and 17 beta-hydroxysteroid dehydrogenase 13 expression	J GASTROENTERO L.:	Others
117	Oda, C; Kamimura, K; Shibata, O 他	消化器内科	HBx and YAP expression could promote tumor development and progression in HBV-related hepatocellular carcinoma	BIOCHEM BIOPHYS REP.2022 DEC;32:101352	Original Article
118	Sato, N; Mishima, T; Okubo, Y 他	心臓血管外科	Acute aortic thrombosis in the ascending aorta after cisplatin-based chemotherapy for esophageal cancer: a case report	SURG CASE REP.2022 APR 24;8•1:75	Case Report
119	Koike, T; Sato, N; Hosoda, Y 他	呼吸器外科	Maximum Standardized Uptake Value on Positron Emission Tomography is Associated With More Advanced Disease and High-risk Features in Lung Adenocarcinoma	SEMIN THORAC CARDIOV.2022 FAL;34•3:1051– 1060	Original Article

120	Koike, T; Miyajima, M; Nakamura, M 他	呼吸器外科	Current trends in minimally invasive anatomical pulmonary segmentectomy using a robotic platform	VIDEO-ASSIST THORAC.:	Others
121	Kitabayashi, K; Yamamoto, S; Narita, I	腎・膠原病内科	Association of the nutritional risk index for Japanese hemodialysis with mortality and dietary nutritional intake in patients undergoing hemodialysis during long-term hospitalization	CLIN EXP NEPHROL.2022 DEC;26・12:1200-1207	Original Article
122	Narita, I; Hayashi, T; Maruyama, S 他	腎・膠原病内科	Hyporesponsiveness to erythropoiesis-stimulating agent in non-dialysis-dependent CKD patients: The BRIGHTEN study	PLOS ONE.2022 NOV 29;17・11:e0277921	Original Article
123	Narita, I; Tsubakihara, Y; Uchiyama, T 他	腎・膠原病内科	Efficacy and Safety of Difelikefalin in Japanese Patients With Moderate to Severe Pruritus Receiving Hemodialysis A Randomized Clinical Trial	JAMA NETW OPEN.2022 MAY 5;5・5:e2210339	Original Article
124	Yamaguchi, H; Kobayashi, D; Nakamura, G 他	腎・膠原病内科	Acute heart failure due to left common iliac arteriovenous fistula: A case of VEXAS syndrome	MOD RHEUMATOL CASE.:	Others

125	Watanabe, H; Goto, S; Hosojima, M 他	腎・膠原病内科	Pathogenic variants of Alport syndrome and monogenic diabetes identified by exome sequencing in a family	HUM GENOME VAR.2023 FEB 2;10・1:5	Others
126	Yasukawa, R; Hosojima, M; Kabasawa, H 他	腎・膠原病内科	Intradialytic parenteral nutrition using a standard amino acid solution not for renal failure in maintenance hemodialysis patients with malnutrition: a multicenter pilot study	RENAL REPLACE THER.2022 SEP 3;8・1:41	Original Article
127	Suzuki, Y; Otsuka, T; Yoshioka, Y 他	腎・膠原病内科	Assessing fluid volume and determining outcomes of acute heart failure using plasma human atrial natriuretic peptide	CLIN EXP NEPHROL.:	Others
128	Ugamura, D; Hosojima, M; Kabasawa, H 他	腎・膠原病内科	An exploratory clinical trial on the efficacy and safety of glucagon-like peptide-1 receptor agonist dulaglutide in patients with type 2 diabetes on maintenance hemodialysis	RENAL REPLACE THER.2022 JUN 11;8・1:26	Original Article
129	Yamaguchi, H; Hosojima, M; Kabasawa, H 他	腎・膠原病内科	A case of idiopathic nodular glomerulosclerosis successfully treated by intensive blockade of the renin-angiotensin-aldosterone system	CEN CASE REP.:	Others

130	Kakutani, R; Ishikawa, H; Abe, A 他	整形外科	Correction of rheumatoid swan-neck deformity of the finger using the modified Thompson-Littler method	MOD RHEUMATOL.202 2 APR 18;32・ 3:541-545	Original Article
131	Shibuya, Y; Katsumi, K; Ohashi, M 他	整形外科	Effect of adjuvant therapy with teriparatide in patients with thoracolumbar osteoporotic vertebral fractures who underwent vertebroplasty with posterior spinal fusion	SCI REP-UK.2022 MAY 25;12・1:8854	Original Article
132	Tanifuji, O; Mochizuki, T; Sato, T 他	整形外科	Mobile medial pivot (lateral slide) type total knee arthroplasty exhibits a medial pivot pattern: three- dimensional motion analysis using cadaveric knees	J EXP ORTHOP.2022 DEC 15;9・1:122	Original Article
133	Ohashi, M; Watanabe, K; Hirano, T 他	整形外科	Marriage and childbirth of patients who were surgically and non- surgically treated for adolescent idiopathic scoliosis: a survey at the age of 30 years or older	SPINE DEFORM.:	Others
134	Tanifuji, O; Mochizuki, T; Koga, Y 他	整形外科	Biomechanical effect of fibular osteotomy on the knee joint in high tibial osteotomy: A cadaveric study	BIO-MED MATER ENG.2023;34・ 2:123-131	Original Article

135	Kondo, N; Kanai, T; Yamada, K 他	整形外科	Modified Boyes' procedure for the multiple finger extensor tendon ruptures in patients with rheumatoid arthritis: A report of two cases	MOD RHEUMATOL CASE.:	Others
136	Mochizuki, T; Tanifuji, O; Omori, G 他	整形外科	The coronal inclination of the medial tibial plateau affects coronal gait kinematics for varus osteoarthritic knees	KNEE SURG SPORT TR A.2022 DEC;30•12:4162–4172	Original Article
137	Homma, D; Minato, I; Imai, N 他	整形外科	Analysis of Phase Angle and Balance and Gait Functions in Pre-Frail Individuals: A Cross-Sectional Observational Study	ACTA MED OKAYAMA.2023 FEB;77•1:21–27	Original Article
138	Huan, W; Mochizuki, T; Tanifuji, O 他	整形外科	Variability of functional knee phenotype for coronal alignment in advanced varus knee osteoarthritis in the Japanese population	KNEE SURG SPORT TR A.2023 APR;31•4:1451–1461	Original Article
139	Kondo, N;	整形外科	Association of autophagy to the phenotypic transformation of synovial fibroblasts in rheumatoid arthritis	ANN TRANSL MED.2022 OCT;10•20:1082	Others

140	Ariizumi, T; Kawashima, H; Yamagishi, T 他	整形外科	Diagnostic accuracy of fine needle aspiration cytology and core needle biopsy in bone and soft tissue tumor: A comparative study of the image-guided and blindly performed procedure	ANN DIAGN PATHOL.2022 AUG;59:151936	Original Article
141	Hirano, Y; Imai, N; Nozaki, A 他	整形外科	The association of postoperative global femoral offset with total hip arthroplasty outcomes	SCI REP-UK.2023 JAN 28;13•1:	Original Article
142	Tomiyama, Y; Mochizuki, T; Tanifuji, O 他	整形外科	Normal coronal kinematics of dynamic alignment and bony positions relative to the ground in three-dimensional motion analysis during gait: A preliminary study	BIO-MED MATER ENG.2023;34•1:37-49	Original Article
143	Mochizuki, T; Ushiki, T; Watanabe, S 他	整形外科	The levels of TGF beta 1, VEGF, PDGF-BB, and PF4 in platelet-rich plasma of professional soccer players: a cross-sectional pilot study	J ORTHOP SURG RES.2022 OCT 27;17•1:465	Original Article
144	Nozaki, A; Imai, N; Shobugawa, Y 他	整形外科	Increased incidence among the very elderly in the 2020 Niigata Prefecture Osteoporotic Hip Fracture Study	J BONE MINER METAB.:	Others

145	Fukui, N; Watanabe, Y; Hashijiri, K 他	精神科	Factor structure of the parental bonding instrument for pregnant Japanese women	SCI REP-UK.2022 NOV 9;12・1:19071	Original Article
146	Zain, E; Sugimoto, A; Egawa, J 他	精神科	Case report: Methylphenidate improved chronic pain in an adult patient with attention deficit hyperactivity disorder	FRONT PSYCHIATRY.202 3 MAR 10;14:1091399	Case Report
147	Egawa, J; Arta, RK; Lemmon, VP 他	精神科	The cyclin G-associated kinase (GAK) inhibitor SGC-GAK-1 inhibits neurite outgrowth and synapse formation	MOL BRAIN.2022 JUL 26;15・1:68	Original Article
148	Sasa, A; Kulvanich, S; Hao, N 他	摂食嚥下機能回復部	Functional evaluation of jaw and suprahyoid muscle activities during chewing	J ORAL REHABIL.2022 DEC;49・12:1127- 1134	Original Article
149	Tsujimura, T; Nakajima, Y; Chotirungsa n, T 他	摂食嚥下機能回復部	Inhibition of Water- Evoked Swallowing During Noxious Mechanical Stimulation of Tongue in Anesthetized Rats	DYSPHAGIA..2023 Jun;38(3):965-972	Original Article

150	Sasa, A; Kulvanich, S; Hao, NHT 他	摂食嚥下機能回復部	Functional Role of Suprahyoid Muscles in Bolus Formation During Mastication	FRONT PHYSIOL.2022 JUN 8;13:881891	Original Article
151	Suzuki, T; Hasegawa, H; Ando, K 他	脳神経外科	Non-contrast-enhanced silent magnetic resonance angiography for assessing cerebral aneurysms after PulseRider treatment	JPN J RADIOL.2022 SEP;40・9:979-985	Original Article
152	Mouri, Y; Natsumeda, M; Okubo, N 他	脳神経外科	Successful Treatment of Acute Uric Acid Nephropathy with Rasburicase in a Primary Central Nervous System Lymphoma Patient Showing a Dramatic Response to Methotrexate-Case Report	J CLIN MED.2022 OCT;11・19:5548	Case Report
153	Natsumeda, M; Matsuzawa, H; Watanabe, M 他	脳神経外科	SWI by 7T MR Imaging for the Microscopic Imaging Diagnosis of Astrocytic and Oligodendroglial Tumors	AM J NEURORADIOL.20 22 NOV;43・ 11:1575-1581	Original Article
154	Mitsuhashi, D; Hishida, R; Oishi, M 他	脳神経外科	Visualization of cortical activation in human brain by flavoprotein fluorescence imaging	J NEUROSURG.202 2 OCT;137・ 4:1105-1113	Original Article

155	Suzuki, T; Hasegawa, H; Ando, K 他	脳神経外科	Long-Term Characteristics of De Novo Bleb Formation at the Aneurysm Neck After Coil Embolization in Unruptured Cerebral Aneurysms	WORLD NEUROSURG.202 2 MAY;161:E767- E775	Original Article
156	Saito, S; Natsumeda, M; Sainouchi, M 他	脳神経外科	Elucidating the multiple genetic alterations involved in the malignant transformation of a KRAS mutant neurenteric cyst. A case report	NEUROPATHOLO GY.2022 DEC;42・ 6:519-525	Case Report
157	Natsumeda, M;	脳神経外科	Predicting BRAF V600E variants: yet another new method	TRANSL CANCER RES.2022 DEC;11・12:4228- 4230	Others
158	Ando, K; Natsumeda, M; Kawamura, M 他	脳神経外科	Elevated ratio of C-type lectin-like receptor 2 level and platelet count (C2PAC) aids in the diagnosis of post- operative venous thromboembolism in IDH-wildtype gliomas	THROMB RES.2023 MAR;223:36-43	Original Article
159	Okada, M; Kawagoe, Y; Takasugi, T 他	脳神経外科	JNK1-Dependent Phosphorylation of GAP-43 Serine 142 is a Novel Molecular Marker for Axonal Growth (March, 10.1007/s11064-022- 03580-6, 2022)	NEUROCHEM RES.2022 SEP;47・ 9:2683-2683	Others

160	Hanyu, R; Tsuboguchi, S; Ninomiya, I 他	脳神経内科	Dysarthria-facial paresis syndrome due to long insular artery infarction	J NEUROL SCI.2022 NOV 15;442:120456	Letter
161	Nagai, T; Onodera, O; Okuda, S	脳神経内科	Deep learning classification of urinary sediment crystals with optimal parameter tuning	SCI REP-UK.2022 DEC 7;12•1:21178	Original Article
162	Kitahara, S; Tsuboguchi, S; Uemura, M 他	脳神経内科	Patients with heterozygous HTRA1-related cerebral small vessel disease misdiagnosed with other diseases: Two case reports	CLIN NEUROL NEUROSUR.2022 DEC;223:107502	Case Report
163	Kawachi, I; Otaka, H; Iwasaki, K 他	脳神経内科	Treatment Status and Healthcare Cost Trends for Patients with Multiple Sclerosis in Japan: A Claims Database Analysis	NEUROL THER.2022 SEP;11•3:1253-1268	Original Article
164	Ishihara, T; Koyama, A; Hatano, Y 他	脳神経内科	Endogenous human retrovirus-K is not increased in the affected tissues of Japanese ALS patients	NEUROSCI RES.2022 MAY;178:78-82	Original Article

165	Uemura, M; Hatano, Y; Nozaki, H 他	脳神経内科	High frequency of HTRA1 AND ABCC6 mutations in Japanese patients with adult- onset cerebral small vessel disease	J NEUROL NEUROSUR PS.2023 JAN;94- 1:74-81	Original Article
166	Koike, Y; Onodera, O;	脳神経内科	Implications of miRNAs dysregulation in amyotrophic lateral sclerosis: Challenging for clinical applications	FRONT NEUROSCI- SWITZ.2023 FEB 21;17:1131758	Review
167	Kawachi, I;	脳神経内科	Autoimmunity to glutamate receptor channels	NEUROL CLIN NEUROSCI.:	Review
168	Tokutake, T; Kasuga, K; Tsukie, T 他	脳神経内科	Clinical correlations of cerebrospinal fluid biomarkers including neuron-glia 2 and neurofilament light chain in patients with multiple system atrophy	PARKINSONISM RELAT D.2022 SEP;102:30-35	Original Article
169	Ishiguro, T; Konno, T; Hara, N 他	脳神経内科	Novel partial deletions, frameshift and missense mutations of CSF1R in patients with CSF1R- related leukoencephalopathy	EUR J NEUROL.:	Original Article

170	Yamana, K; Ohashi, R; Tomita, Y	泌尿器科	Contemporary Drug Therapy for Renal Cell Carcinoma—Evidence Accumulation and Histological Implications in Treatment Strategy	BIOMEDICINES.2022 NOV;10•11:2840	Review
171	Tomita, Y; Larkin, J; Venugopal, B 他	泌尿器科	Association of C-reactive protein with efficacy of avelumab plus axitinib in advanced renal cell carcinoma: long-term follow-up results from JAVELIN Renal 101	ESMO OPEN.2022 OCT;7•5:	Original Article
172	Kazama, A; Bilim, V; Tasaki, M 他	泌尿器科	Tumor-infiltrating immune cell status predicts successful response to immune checkpoint inhibitors in renal cell carcinoma	SCI REP-UK.2022 NOV 27;12•1:20386	Original Article
173	Tomita, Y; Kobayashi, K; Kimura, G 他	泌尿器科	Adjuvant nivolumab versus placebo following radical surgery for high-risk muscle-invasive urothelial carcinoma: a subgroup analysis of Japanese patients enrolled in the phase 3 CheckMate 274 trial	JPN J CLIN ONCOL.2023 JAN 6;53•1:16-25	Original Article
174	Tasaki, M; Tateno, H; Sato, T 他	泌尿器科	Hyporesponsiveness against donor's ABO antigens of renal grafts after ABO-incompatible kidney transplantation	CLIN EXP NEPHROL.2023 JAN;27•1:89-95	Original Article

175	Bilim, V; Kuroki, H; Shirano, Y 他	泌尿器科	Advanced Bladder Cancer: Changing the Treatment Landscape	J PERS MED.2022 OCT;12・10:1745	Review
176	Ishikawa, S; Tasaki, M; Ikeda, M 他	泌尿器科	Pretransplant BMI Should Be <25 in Japanese Kidney Transplant Recipients: A Single-Center Experience	TRANSPL P.2023 JAN-FEB;55・ 1:72-79	Original Article
177	Tomita, Y; Motzer, RJ; Choueiri, TK 他	泌尿器科	Efficacy and safety of avelumab plus axitinib in elderly patients with advanced renal cell carcinoma: extended follow-up results from JAVELIN Renal 101	ESMO OPEN.2022 APR;7・2:	Original Article
178	Hama, N; Abe, R; Gibson, A 他	皮膚科	Drug-Induced Hypersensitivity Syndrome (DIHS)/Drug Reaction With Eosinophilia and Systemic Symptoms (DRESS): Clinical Features and Pathogenesis	J ALLER CL IMM- PRACT.2022 MAY;10・5:1155- 1168	Review
179	Ansai, O; Miyauchi, T; Hayashi, R 他	皮膚科	Interleukin-18 as a severity marker and novel potential therapeutic target for epidermolytic ichthyosis	CLIN EXP DERMATOL.2023 MAR 1;48・3:199- 210	Original Article

180	Terao-Hirayama, K; Hasegawa, A; Takei, S 他	皮膚科	Histiocytoid Sweet syndrome as a rare skin manifestation of relapsing polychondritis	J DERMATOL.:	Letter
181	Yuki, A; Takatsuka, S; Abe, R 他	皮膚科	Diagnostic accuracy of dermoscopy for 934 basal cell carcinomas: A single-center retrospective study	J DERMATOL.2023 JAN;50・1:64-71	Original Article
182	Takei, S; Hayashi, R; Katsumi, T 他	皮膚科	A case of epidermolysis bullosa simplex-Ogna with nail involvement	J DERMATOL.:	Letter
183	Nakano, H; Shiinoki, T; Tanabe, S 他	放射線治療科	Multicomponent mathematical model for tumor volume calculation with setup error using single-isocenter stereotactic radiotherapy for multiple brain metastases	PHYS ENG SCI MED.:	Others
184	Yamazaki, M; Yagi, T; Tominaga, M 他	放射線治療科	Role of intratumoral and peritumoral CT radiomics for the prediction of EGFR gene mutation in primary lung cancer	BRIT J RADIOLOG.2022 DEC 1;95・1140:	Original Article

185	Kurita, S; Kamiya, Y;	麻醉科	Hypertensive attack induced by dexamethasone during induction of anesthesia in a patient with an adrenal pheochromocytoma: a case report	JA CLIN REP.2022 AUG 6;8・1:59	Case Report
186	Yamamoto, T; Schindler, E;	麻醉科	Ideal endotracheal intubation depth at the vocal-cord level to avoid single-lung intubation using the percentage ratio of the tracheal length to body height	ANAESTH INTENSIVE TH.2023;55・1:32- 37	Original Article
187	Yamamoto, T; Schindler, E;	麻醉科	Femoral Artery Cannulation Timing for a Pediatric Aortic Arch Repair	THORAC CARDIOV SURG.:	Others
188	Kurabe, M; Sasaki, M; Furutani, K 他	麻醉科	Structural and functional properties of spinal dorsal horn neurons after peripheral nerve injury change overtime via astrocyte activation	ISCIENCE.2022 DEC 22;25・ 12:105555	Original Article
189	Hibino, A; Yamamoto, T;	麻醉科	A simple approach for the management of a ruptured endobronchial cuff of the double-lumen tube using an automatic cuff pressure controller: a case study	JA CLIN REP.2022 AUG 8;8・1:61	Letter

190	Matsuda, K; Sasaki, M; Baba, H 他	麻醉科	Neuronal Nitric Oxide Synthase Suppression Confers the Prolonged Analgesic Effect of Sciatic Nerve Block With Perineural Dexamethasone in Postoperative Pain Model Mice	J PAIN.2022 OCT;23•10:1765–1778	Original Article
191	Ohashi, N; Uta, D; Ohashi, M 他	麻醉科	Analgesic effect of ivabradine against inflammatory pain mediated by hyperpolarization-activated cyclic nucleotide-gated cation channels expressed on primary afferent terminals in the spinal dorsal horn	PAIN.2022 JUL;163•7:1356–1369	Original Article
192	Mitsuma, Y; Furutani, K; Deguchi, H 他	麻醉科	Low-dose Droperidol Reduces the Amplitude of Transcranial Electrical Motor-evoked Potential: A Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Trial	J NEUROSURG ANESTH.2022 OCT;34•4:424–428	Original Article
193	Mizoguchi, N; Nohno, K; Yoshihara, A 他	予防歯科	Association of Hyper-Low-Density Lipoprotein and Hypo-High-Density Lipoprotein Cholesterolmia with Low Saliva Flow Rates in Japanese Community-Dwelling Elders	INT ARCH OTORHINOLAR.2 023 JAN;27•1:24–31	Original Article
194	Thwin, KM; Tun, TZ; Kaneko, N 他	予防歯科	Clinical and Microbial Evaluation of Dental Caries Status and Associated Factors Among Primary Schoolchildren in Myanmar: A Cross-Sectional Study	ASIA-PAC J PUBLIC HE.2023 JAN;35•1:42–49	Original Article

195	Abé T; Yamazaki M; Maruyama S 他	口腔病理	Adenosquamous Carcinoma with the Acantholytic Feature in the Oral Cavity: A Case Report and Comprehensive Literature Review	Diagnostics (Basel). 2022 Oct;12:2398.	Case Report
196	Lay Thant 1 2 3; Masaru Kaku 4; Yoshito Kakiyama 1 他	冠・ブリッジ診療科	Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Analysis of Periodontal Ligament Under Mechanical Stress.	Front Physiol 2022 May 20;13:899699, 2022.	Original Article
197	Sato,T; Fujihara,K; Yamada,MH 他	血液・内分泌・代謝内科	Utility of a Physical Fitness Score in Screening for Chronic Diseases	J Sports Sci Med. 2023 Mar 1;22(1):98-110.	Original Article
198	Suzuki T; Kulvanich S; Tsujimura T 他	摂食嚥下機能回復部	Cause of Impairments of Bolus Transport and Epiglottis Inversion	DYSPHAGIA.2022. Dec.37(6): 1858-1860.	Case Report
199	Magara J; Onuki W; Ita R 他	摂食嚥下機能回復部	Chewing modulates the human cortical swallowing motor pathways	Physiology and Behaviors. 2022.May. 15;249:113763.	Original Article

200	Kulvanich S; Sakai H; Takanami R 他	摂食嚥下機能回復部	Impact of oral function on regaining oral intake and adjusting diet forms for acute stroke patients	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2022.May. 31(5):106401.	Original Article
201	Kobayashi T; Ito S; Murasawa A 他	歯周病科	Periodontitis severity affects the clinical response to biological disease-modifying antirheumatic drugs in rheumatoid arthritis: A 1-year follow-up study.	Mod Rheumatol.2023 JAN;33(1): 81-87	Original Article
202	Nakano M; Shimada Y; Matsumoto Y 他	消化器外科	Efficacy of BRAF inhibitor and anti-EGFR antibody in colorectal neuroendocrine carcinoma.	Clin J Gastroenterol. 2022 Apr;15:413-418	Case Report
203	Miura K; Kobayashi T; Ishikawa H 他	消化器外科	Hemostasis caused by stent-graft insertion followed by graft removal for pancreas graft bleeding due to chronic rejection: A case report.	Transplant Rep. 2022 Jun;7(2): 10095	Case Report
204	Tajima Y; Okuda S; Hanai T 他	消化器外科	Differential analysis of microbiomes in mucus and tissues obtained from colorectal cancer patients.	Sci Rep 2022 Oct;12(1):18193	Original Article

205	Mito M; Sakata J; Hirose Y 他	消化器外科	Preoperative controlling nutritional status score predicts systemic disease recurrence in patients with resectable biliary tract cancer.	Eur J Surg Oncol. 2023 Feb;49(2):399–409.	Original Article
206	Okuda S; Hirose Y; Takahara H 他	ゲノム診療部	Unveiling microbiome profiles in human inner body fluids and tumor tissues with pancreatic or biliary tract cancer.	Sci Rep 2022 May;12(1): 8766	Original Article
207	Sato H; Takeuchi M; Takahashi K 他	消化器内科	Esophageal Diverticulum – Indications and Efficacy of Therapeutic Endoscopy	Intern Med. 2022;61(7):943–949. doi: 10.2169	Original Article
208	Hori A; Watanabe Y; Takahashi K 他	消化器内科	A rare case of duodenal variceal bleeding due to extrahepatic portal vein obstruction successfully treated with endoscopic injection sclerotherapy	Clin J Gastroenterol. 2022 Apr 4. doi: 10.1007/s12328-022-01627-3.	Case Report
209	Ishikawa N; Kamimura K; Endo S 他	消化器内科	Effects of Atezolizumab and Bevacizumab on Adrenal Gland Metastasis of Hepatocellular Carcinoma: A Case Report and Review of Literature	Intern Med. 2022 Apr 16. doi: 10.2169/internalmedicine.9341-22.	Case Report

210	Sato H; Nishikawa Y; Abe H 他	消化器内科	Esophageal carcinoma in achalasia patients managed with endoscopic submucosal dissection and peroral endoscopic myotomy: Japan Achalasia Multicenter Study	Dig Endosc. 2022 Jul;34(5):965–973. doi: 10.1111/den.14197. Epub 2021 Dec 12.	Original Article
211	Setsu T; Yokoo T; Sato T 他	消化器内科	Benign Duodenal Stenosis Caused by Huge Mesenteric Hematoma Conservatively Improved with Long-term Use of Double Elementary Diet Tube	Intern Med. 2022 Jul 1;61(13):1959–1962. doi: 10.2169/internalmedicine.8721–21. Epub 2021 Dec 18.	Case Report
212	Watanabe Y; Osaki A; Yamazaki S 他	消化器内科	Two cases of portal-systemic encephalopathy caused by multiple portosystemic shunts successfully treated with percutaneous transhepatic obliteration	Clin J Gastroenterol. 2022 Jul 11. doi: 10.1007/s12328-022-01671-z. Online ahead of print.	Case Report
213	Ishii Y; Tsuchiya A; Natsui K 他	消化器内科	Synthesized HMGB1 peptide prevents the progression of inflammation, steatosis, fibrosis, and tumor occurrence in a nonalcoholic steatohepatitis mouse model	Hepatol Res. 2022 Aug 6. doi: 10.1111/hepr.13825. Online ahead of print.	Original Article
214	Watanabe Y; Osaki A; Waguri N 他	消化器内科	Prognostic study of acute-on-chronic liver failure patients: Usefulness of the fibrosis-4 index	Medicine (Baltimore). 2022 Nov 4;101(44):e31328. doi: 10.1097/MD.00000000000031328.	Original Article

215	Watanabe Y; Abe H; Kimura N 他	消化器内科	Navitoclax improves acute-on-chronic liver failure by eliminating senescent cells in mice	Hepatol Res. 2023 Jan 11. doi: 10.1111/hepr.13879. Online ahead of print.	Original Article
216	Hiroyuki Abe; Kenya Kamimura;	消化器内科	Basics, Epidemiology, Diagnosis, and Management of Liver Tumor	J Clin Med. 2023 Jan 9;12(2):524. doi: 10.3390/jcm12020524.	Original Article
217	Kamimura H; Setsu T; Kimura N 他	消化器内科	Analysis of drug-induced liver-related adverse event trend reporting between 1997 and 2019	Hepatol Res. 2023 Jan 20. doi: 10.1111/hepr.13883. Online ahead of print.	Original Article
218	Kumagai K; Mawatari S; Moriuchi A 他	消化器内科	Early-phase prothrombin time-international normalized ratio in acute liver injury indicates the timing of therapeutic intervention and predicts prognostic improvement	Hepatol Res. 2023 Feb;53(2):160–171. doi: 10.1111/hepr.13848. Epub 2022 Nov 10.	Original Article
219	Natsui K; Tsuchiya A; Imamiya R 他	消化器内科	Escherichia coli-derived outer-membrane vesicles induce immune activation and progression of cirrhosis in mice and humans	Liver Int. 2023 Feb 8. doi: 10.1111/liv.15539. Online ahead of print.	Original Article

220	Watanabe Y; Osaki A; Yamazaki S 他	消化器内科	Two Cases of Gastric Varices with Left-sided Portal Hypertension due to Essential Thrombocythemia Treated with Gastric Devascularization or Partial Splenic Embolization	Intern Med. 2023 Feb 22. doi: 10.2169/internalmedicine.1273-22. Online ahead of print.	Case Report
221	Minako Wakasugi; Junichiro James Kazama; Kosaku Nitta 他	腎・膠原病内科	Smoking and risk of fractures requiring hospitalization in haemodialysis patients: a nationwide cohort study in Japan	Nephrol Dial Transplant .2022 Apr 37(5): 950–959,	Original Article
222	Minako Wakasugi; Akio Yokoseki; Masakazu Wada 他	腎・膠原病内科	Stroke incidence and chronic kidney disease: A hospital-based prospective cohort study	Nephrology (Carlton). 2022 Jul;27(7):577–587	Original Article
223	Nobuyuki Shirai; Suguru Yamamoto; Yutaka Osawa 他	腎・膠原病内科	Dysfunction in dynamic, but not static balance is associated with risk of accidental falls in hemodialysis patients: a prospective cohort study	BMC Nephrol. 2022 Jul 6;23(1):237	Original Article
224	Kou Kitabayashi; Suguru Yamamoto; Ichiei Narita	腎・膠原病内科	Magnesium intake by enteral formulation affects serum magnesium concentration in patients undergoing hemodialysis	Ther Apher Dial. 2022 Aug;26(4):749–755	Original Article

225	Yoichi Kurosawa; Satoshi Ito; Shunsuke Sakai 他	腎・膠原病内科	Effectiveness and Safety of Golimumab for Patients ≥ 75 Years Old with Rheumatoid Arthritis	Intern Med. 2022;61(14):2117–2125	Original Article
226	Ryohei Kaseda; Michihiro Hosojima; Shoji Kuwahara 他	腎・膠原病内科	Rice Endosperm Protein Improves the Anti-Inflammatory Effects of High-Density Lipoprotein and Produces Lower Atherosclerotic Lesion Accelerated by the Renal Mass Reduction than Casein in a Mouse Model	J Am Nutr Assoc. 2022 Sep–Oct;41(7):668–678	Original Article
227	Minako Wakasugi; Ichiei Narita; Kunitoshi Iseki 他	腎・膠原病内科	Healthy Lifestyle and Incident Hypertension and Diabetes in Participants with and without Chronic Kidney Disease: The Japan Specific Health Checkups (J-SHC) Study	Intern Med. 2022 Oct 1;61(19):2841–2851	Original Article
228	Minako Wakasugi; Ichiei Narita;	腎・膠原病内科	Sex Differences in Cause-specific Mortality in Japanese Dialysis Patients	Intern Med. 2022 Oct 1;61(19):2831–2839	Original Article
229	Tomomichi Iida; Michihiro Hosojima; Hideyuki Kabasawa 他	腎・膠原病内科	Urinary A- and C-megalin predict progression of diabetic kidney disease: an exploratory retrospective cohort study	J Diabetes Complications. 2022 Nov;36(11):108312	Original Article

230	Minako Wakasugi; Ichiei Narita;	腎・膠原病内科	Impact of adherence to CKD-MBD guidelines on mortality among Japanese dialysis patients: an ecological study	J Bone Miner Metab. 2022 Sep;40(5):810-818	Original Article
231	Minako Wakasugi; Akio Yokoseki; Masakazu Wada 他	腎・膠原病内科	Authors' reply	J Bone Miner Metab. 2022 May;40(3):537-538	letter
232	Michihiro Hosojima; Hideyuki Kabasawa; Ryohei Kaseda 他	腎・膠原病内科	Efficacy of Low-Protein Rice for Dietary Protein Restriction in CKD Patients: A Multicenter, Randomized, Controlled Study	Kidney360. 2022 Oct 17;3(11):1861-1870	Original Article
233	Minako Wakasugi; Ichiei Narita;	腎・膠原病内科	Trends in the incidence of renal replacement therapy by type of primary kidney disease in Japan, 2006-2020	Nephrology (Carlton). 2023 Feb;28(2):119-129	Original Article
234	Minako Wakasugi; Ichiei Narita;	腎・膠原病内科	Prefecture-specific prevalence of overweight/obesity is associated with regional variation in the incidence of treated ESKD in Japan	Clin Exp Nephrol. 2023 Feb;27(2):132-140	Original Article

235	Eriko Hasegawa; Satoshi Ito; Yoichi Kurosawa 他	腎・膠原病内科	The Efficacy of Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs on Sarcopenia in Patients with Rheumatoid Arthritis	Intern Med. 2023 Feb;62(3):373–379	Original Article
236	Arinami H; Watanabe Y; Suzuki Y 他	精神科	Serum cortisol and insulin-like growth factor 1 levels in major depressive disorder and schizophrenia.	Sci Rep 13(1): 1148, 2023.	Original Article
237	Otake M; Ono S; Watanabe Y 他	精神科	Association between the number of remaining teeth and body mass index in Japanese inpatients with schizophrenia.	Neuropsychiatr Dis Treat 18 2591–2597, 2022.	Original Article
238	Watanabe Y; Ono S; Sugai T 他	精神科	Associations between the number of antipsychotics prescribed and metabolic parameters in Japanese patients with schizophrenia.	Psychiatry Clin Neurosci Rep 1(3): e28, 2022.	Original Article
239	Matsuzawa K; Yokoyama Y; Watanabe Y 他	精神科	A case presenting with a major depressive episode with palilalia and difficulty opening eyes as prodromal symptoms of progressive supranuclear palsy.	Psychiatry Clin Neurosci Rep 1(2): e24, 2022.	Case Report

240	Izumi Kawachi; Hiromichi Otaka ; Kosuke Iwasaki 他	脳神経内科	A Principal Component Analysis Approach to Estimate the Disability Status for Patients with Multiple Sclerosis Using Japanese Claims Data	NEUROL THER.2022;11:385-396	Original Article
241	Shimada K; Ansai O; Katsumi T 他	皮膚科	A case of cutaneous syncytial myoepithelioma with extensive adipocytic metaplasia: Usefulness of EWSR1-PBX3 gene fusion analysis.	J Cutan Pathol. 2022 Apr;49(4):412-417.	Original Article
242	Shimada K; Hayashi R; Yokoyama R 他	皮膚科	Atypical Localization of Congenital Triangular Alopecia Associated with Down's Syndrome	Indian J Dermatol. 2022 Jan-Feb;67(1):94.	Letter
243	Terao-Hirayama K; Hayashi R; Ansai O 他	皮膚科	Adult-onset severe acral angiokeratoma-like pseudolymphoma: A case report and review of the literature.	Skin Health Dis. 2022 May 25;3(1):e135.	Letter
244	Tsutsui Y; Hasegawa A; Uchida S 他	皮膚科	Dermatitis herpetiformis triggered by iodine contrast media.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2022 May;36(5):e348-e350.	Letter

245	Takei S; Hama N; Mizukawa Y 他	皮膚科	Purpura as an indicator of severity in drug-induced hypersensitivity syndrome/drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms: evidence from a 49-case series.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2022 Apr;36(4):e310-e313.	Letter
246	Nakano T; Aoyama H; Onodera S 他	放射線治療科診断科・治療科	Reduced-dose WBRT combined with SRS for 1-4 brain metastases aiming at minimizing neurocognitive function deterioration without compromising brain tumor control.	Clinical and Translational Radiation Oncology Volume 37, November 2022, Pages 116-129	Original Article
247	Nakano H; Takizawa T; Kawahara D 他	放射線治療科診断科・治療科	Radiobiological evaluation considering the treatment time with stereotactic radiosurgery for brain metastases	BJR Open 58(9):516-520, 2022	Original Article
248	Karawekpanyawong R; Nohno K; Kubota Y 他	予防歯科	Oral health and nutritional intake in community-dwelling 90-year-old Japanese people: a cross-sectional study	Gerodontology 2023 Mar;40:100-111	Original Article
249	Ishikawa S; Tasaki M; Saito K 他	泌尿器科	Acquisition of Antibody Against Cytomegalovirus After Kidney Transplantation in Seronegative Recipients.	Transplant Proc. 2023 Apr 13:S0041-1345(23)00126-4.	Original Article

250	Edanami N; Belal RSI; Takenaka S 他	歯の診療科	In vivo assessment of the calcium salt-forming ability of a new calcium silicate-based intracanal medicament: Bio-C Temp	Dent J 11(4): 91, 2023	Original Article
251	Ohkura N; Yoshiba K; Yoshiba N 他	歯の診療科	Prostaglandin E2-transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp.	J Endod 49(4): 410-418	Original Article
252	Shiramizu M; Hasegawa Y; Yoneda H 他	義歯診療科	Factors affecting masticatory performance during the mixed dentition period.	J Oral Rehabil.49(12):202 2 Dec; 1144-1154.	Original Article
253	Ando T; Seki M; Ueda E 他	眼科	A case of bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation with secondary angle closure caused by ciliary body thickening	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Oct.21:28	Case Report
254	Nakano H; Hasebe H; Murakami K 他	眼科	CHOROIDAL VASCULAR DENSITY IN DIABETIC RETINOPATHY ASSESSED WITH SWEEP-SOURCE OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY	Retina. 2023 Jan 1;43(1)34-41	Multicenter Study

255	Kiyomi Anna; Yoshida K; Arai C 他	薬剤部	Salivary inflammatory mediators as biomarkers for oral mucositis and oral mucosal dryness in cancer patients: A pilot study	PLOS ONE 17(4):e0267092. 2022	Original Article
256	Yoshida Kensuke; Kodama Yasumitsu; Saito Chie 他	薬剤部	Comparison between Single and Three Times Pre-operative Administration of Amoxicillin in the Prophylactic Effects for Surgical Site Infections in Japanese Patients with Mandibular Third Molars Extraction	Yakugaku zasshi 12(142):1391-1398, 2022	Original Article
257	Takahiro Hakamata; Sou Otsuki; Daisuke Izumi 他	循環器内科	Clinical impact of ECG changes on oversensing of subcutaneous implantable cardioverter-defibrillators.	Heart rhythm 19(10) 1704-1711	Original Article
258	Naomasa Suzuki; Sou Otsuki; Daisuke Izumi 他	循環器内科	Clinical impact of nocturnal ventricular tachyarrhythmias in electrical storm.	Pacing Clin Electrophysiol . 2022;45:1330-1337.	Original Article
259	Sakai R; Ozaki K; Kubota N 他	循環器内科	Angioscopic Findings of a First-Generation Drug-Eluting Stent Occurring Very Late Stent Thrombosis 13 Years after Implantation.	Cardiovasc Interv Ther 2022 37 395-396	Original Article

260	Watanabe M; Kashimura T; Ishizuka M 他	循環器内科	Baseline Blood Pressure and Left Ventricular Reverse Remodeling in Dilated Cardiomyopathy with Spontaneous Mechanical Alternans	Intern Med 2022 2023/11/9 0711-22	Original Article
261	Hasegawa Y; Izumi D; Ikami Y 他	循環器内科	Platypnea-orthodeoxia Syndrome Due to Right Ventricular Inflow Tract Obstruction Caused by an Elongated Ascending Aorta: Usefulness of Three-dimensional Cardiac Computed Tomography Imaging in the Sitting Position	Internal medicine 2022 61(15) 2315-2317	Case Report
262	Kubota N; Ozaki K; Akiyama T 他	循環器内科	Correlation Between the Japanese Version of the High Bleeding Risk (J-HBR) Criteria and the PRECISE-DAPT Score, and Optimal J-HBR Cut-Off Score to Predict Major Bleeding.	Circ Rep 2022 363-370. 36032388	Original Article
263	Ito M; Nagai T; Inomata T.	循環器内科	Takotsubo Syndrome in Octogenarians and Nonagenarians	Circ Rep 2022 4 185	Original Article
264	Kase M.; Fujiki S.; Kashimura T. 他	循環器内科	Relationship Between Medical Therapy, Long-Term Care Insurance, and Comorbidity in Elderly Patients With Heart Failure With Systolic Dysfunction	Circulation Journal 2023	Original Article

265	Ishizuka M; Kashimura T; Watanabe M 他	循環器内科	Optimal Timing of Serial 18F-Fluoro-2- Deoxyglucose Positron Emission Tomography after Prednisolone Treatment Introduction for Cardiac Sarcoidosis	Int Heart J 2023 64(2) 196-202	Othes
266	Hiroki Tsuchiya MD; Takeshi Kashimura MD; PhD 他	循環器内科	A case of giant cell myocarditis mimicking cardiac sarcoidosis successfully maintained by prednisolone and tacrolimus	Journal of Cardiology Cases 2023 online	Case Report
267	Nakamura A; Hasebe D; Kato Y 他	口腔再建外科	Intravenous administration of lidocaine and magnesium for severe pain caused by primary chronic osteomyelitis of the mandible: A case report	Oral and Maxillofacial Surgery Cases. 2022 Jun;8(2),100251	Case Report
268	Chan NN; Yamazaki M; Sakuma H 他	口腔再建外科	Solitary central osteoma of the mandible with unusual clinicoradiological presentations: A case report and literature review	Oral Sci Int, 2022 July (オンライン)	Case Report
269	Sakuma H; Hasebe D; Takeuchi R 他	口腔再建外科	The use of an ultrasonic curettage device in orthognathic surgery decreases surgery- related blood loss.	Heliyon. 2022,Dec;8(12): e12639.	Original Article

270	Chan NN; Yamazaki M; Maruyama S 他	口腔再建外科	Cholesterol Is a Regulator of CAV1 Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma.	Int. J. Mol. Sci. 2023 Mar;24(7):6035.	Original Article
271	Mikami T; Kobayashi T; Hasebe D 他	口腔再建外科	Oral appliance therapy for obstructive sleep apnea in multiple system atrophy with floppy epiglottis: a case series of three patients	Sleep Breath.2023 Mar;27(1):213-219	Case Report
272	Inaba Y; Hasebe D; Hashizume K 他	口腔再建外科	Changes in nutritional status of patients with jaw deformities due to orthognathic surgery	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.2023 Mar;135(3):347- 354	Original Article
273	Kasahara M; Sakuma H; Hasebe D 他	口腔再建外科	Surgical orthodontic treatment of a patient with trichorhinophalangeal syndrome: A case report	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2023 Mar;35(2):153-157	Case Report

計273件

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	事業報告者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	結城 龍太郎; 児玉 泰光; Estacio Salazar Andrea Rei 他	顎顔面口腔外科学分野	片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の5-Year-Olds' Indexでの評価 軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響	日本口蓋裂学会雑誌. 2022 Oct; 47巻3号 :200-209	Original Article
2	高木 律男; 児玉 泰光; 飯田 征二 他	顎顔面口腔外科学分野	口唇裂・口蓋裂児に関する臨床統計的検討 (2019)	日本口蓋裂学会雑誌. 2022 Oct; 47巻3号 :210-219	Original Article
3	高木 律男; 田邊 嘉也; 須藤 弘二 他	顎顔面口腔外科学分野	SARS-CoV-2感染診断のためのPCR検体採取法および診断精度 口腔からの検体採取法の検討	日本環境感染症学会誌. 2022 Jul; 37巻4号 :139-142	Original Article
4	大湊 麗; 小野 和宏; 児玉 泰光 他	顎顔面口腔外科学分野	二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討 口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて	日本口蓋裂学会雑誌. 2022 Apr; 47巻1号 :20-29	Original Article

5	上野山 敦士; 児玉 泰光; 大貫 尚志 他	顎顔面口腔外科学分野	顎関節強直症を呈したSAPHO症候群の1例	日本口腔外科学会雑誌. 2022 Sep; :370-377	Case Report
6	山崎 裕太	顎口腔インプラント治療部	下顎第一大臼歯部遊離端欠損に対しインプラント補綴治療を行った1例	日本口腔インプラント学会誌. 2022 Dec; : E227-E228	Original Article
7	安樂 晶子; 大湊 絢; 塩崎 直哉 他	眼科学分野	渦静脈浸潤がみられたぶどう膜悪性黒色腫の2例	臨床眼科. 2022 Sep; :1279-1285	Case Report
8	松田 健; 曾束 洋平; 松代 直樹	形成外科	病的共同運動・顔面拘縮に対するアプローチ 病的共同運動・拘縮に対する外科的アプローチについて	Facial Nerve Research. 2022 May; 41巻 :44-46	Original Article
9	榎本 貴士; 三島 健人; 岡本 竹司 他	呼吸循環外科学	Cabrol手術後の冠動脈-人工血管吻合部狭窄および閉塞に対して冠動脈バイパス術を施行したMarfan症候群の1例	心臓. 2022 Aug; :966-971	Case Report

10	上村 夏生; 玉川 太郎; 八幡 えり佳 他	高次救命災害治療セ ンター	緊急腹腔穿刺で改善し た上部消化管穿孔によ る緊張性気腹の1例	日本救急医学会 雑誌. 2022 Jan; : 6-11	Case Report
11	松本 賢典; 関塚 智之; 山脇 芳 他	産科婦人科	在胎36-38週における新 生児呼吸障害例の検討 Lamellar body countを 指標として	日本周産期・新生 児医学会雑誌. 2022 Dec;58巻3 号 :492-497	Original Article
12	今井 諭; 山 脇 芳; 生野 寿史 他	産科婦人科	当院で周産期管理を 行った胎児先天性消化 管閉鎖52症例の臨床的 検討	日本周産期・新生 児医学会雑誌. 2022 Dec;58巻3 号 :510-515	Original Article
13	登内 恵里 子; 山脇 芳; 生野 寿史 他	産科婦人科	子宮頸管熟化不全に対 するジノプロストン腔用 剤と器械的熟化法の有 用性の比較検討	日本周産期・新生 児医学会雑誌. 2022 Dec;58巻3 号 :498-503	Original Article
14	吉原 弘祐	産科婦人科学分野	正常子宮内膜の癌遺伝 子変異は疾患予防に役 立つか?	上原記念生命科 学財団研究報告 集. 2022 Dec;36 巻 :1-5	Original Article

15	吉原 弘祐; 榎本 隆之	産婦人科	子宮内膜症関連癌の克服に向けて 正常子宮内膜における癌関連遺伝子変異の意義	日本エンドメトリオーシス学会会誌. 2022 Aug;43巻 :5-8	Original Article
16	伊藤 晴江; 長谷川 真奈; 中村 太他	歯科総合診療科	卒後研修における同僚評価が研修歯科医の意識に与える影響	日本歯科医学教育学会雑誌. 2022 Apr;38巻1号 :52-62	Original Article
17	佐藤 拓実; 都野 さやか; 中村 太他	歯科総合診療科	下顎全部床義歯圧接と下顎第1大臼歯全部金属冠装着動作の力のコントロールについての検討	日本総合歯科学会雑誌. 2022 Oct;14巻 :19-29	Original Article
18	田中 裕; 瀬尾 憲司; 村松 芳幸 他	歯科麻酔科	口腔顔面痛患者の健康関連QOL調査	慢性疼痛. 2022 Dec;41巻1号 :76-82	Original Article
19	田中 裕; 弦巻 立; 倉田 行伸 他	歯科麻酔科	新潟大学医歯学総合病院における最近13年間の院内歯科救急体制の分析	新潟歯学会雑誌. 2022 Jun;52巻1号 :19-27	Original Article

20	今井 有蔵; 岸本 直隆; 倉田 行伸 他	歯科麻酔学分野	自動カフ圧コントローラ SmartCuffによりカフ損 傷を早期に発見しえた1 症例	日本歯科麻酔学 会雑誌. 2022 Jul; :122-124	Case Report
21	森田 由香	耳鼻咽喉科	真珠腫の個別化医療は 可能か?-病態に応じた 術式を目指して- 当科 における後天性真珠腫 の治療 術式の変遷と 治療成績	Otology Japan. 2022 Dec;32巻4 号 :371-376	Original Article
22	高橋 剛史; 八木 千裕; 森田 由香 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科	YouTubeを活用した耳鼻 咽喉科・頭頸部外科の 医療情報発信	日本耳鼻咽喉科 頭頸部外科学会 会報. 2023 Feb; 126巻2号 :128- 133	Original Article
23	大口 明日 海; 高橋 邦 行; 山岸 達 矢 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科学分野	直達外傷性外リンパ瘻 の特徴的所見と治療予 後 3症例からの考察	日本耳鼻咽喉科 頭頸部外科学会 会報. 2022 Oct; 125巻10号:1480- 1486	Case Report
24	佐久間 実 のり; 久保 田 直樹; 尾 崎 和幸 他	循環器内科学	左心収縮不全を伴う心 室中隔欠損症に対し経 皮的心室中隔欠損閉鎖 術を含む集学的治療を 行い良好な経過をた どった1例	心臓. 2022 Jul; : 803-810	Case Report

25	関谷 祐香; 尾崎 和幸; 大久保 健 志 他	循環器内科学分野	経皮的心肺補助装置 (PCPS)およびバルーン 肺動脈形成術(BPA)に て救命し得た消化管出 血を契機に肺高血圧ク ライシスに陥った慢性血 栓塞栓性肺高血圧症の 1例	心臓. 2022 Dec; : 1388-1397	Case Report
26	太刀川 潤; 相澤 悠太; 幾瀬 樹 他	小児科学分野	【COVID-19流行下にお ける他の流行性疾患の 疫学変化】新潟県にお けるCOVID-19流行下の 突発性発疹の報告数と 児の年齢の変化	臨床とウイルス. 2022 Jul; 50巻3 号 : 109-112	Original Article
27	齋藤 昭彦; 西村 千織; 橋本 孝史 他	小児科学分野	新潟県におけるRSウイ ルス流行伝播	小児科診療. 2022 Sep; 85巻9号 : 1233-1238	Original Article
28	安部 舜; 坂 田 純; 三浦 宏平 他	消化器・一般外科学分 野	根治切除と術後化学療 法で長期生存が得られ たリンパ節転移陽性の 肝内胆管癌の1例	癌と化学療法. 2023 Feb; : 227- 229	Original Article
29	植木 宏登; 滝沢 一泰; 宗岡 悠介 他	消化器・一般外科学分 野	十二指腸癌術後左鎖骨 上リンパ節転移に対し 集学的治療により長期 生存が得られた1例	癌と化学療法. 2022 Dec; : 1648- 1650	Original Article

30	番場 悠太; 中野 雅人; 島田 能史 他	消化器・一般外科学分野	Pagetoid Spreadを伴う 肛門管癌に対し腹腔鏡 補助下直腸切断術を施 行した1例	癌と化学療法. 2022 Dec ; :1455- 1457	Original Article
31	服部 修太; 加納 陽介; 市川 寛 他	消化器・一般外科学分野	食道癌の術前化学療法 中にペグフィルグラスチ ムによる大動脈炎を来 した1例	癌と化学療法. 2022 Dec ; :1817- 1819	Original Article
32	平井 基晴; 羽入 隆晃; 市川 寛 他	消化器・一般外科学分野	Trastuzumab併用化学 療法後にConversion Surgeryを施行し得た切 除不能進行胃癌の1例	癌と化学療法. 2022 Dec ; :1515- 1517	Original Article
33	高綱 将史; 野澤 良祐; 佐藤 裕樹 他	消化器内科学分野	【転移性消化管腫瘍】前 立腺肉腫の胃壁内転移 の1例	胃と腸. 2022 Jul ; :1059-1066	Case Report
34	上村 博輝; 酒井 規裕; 小島 雄一 他	消化器内科分野	肝性腹水が腹部コン パートメント症候群を介 して腎機能へ与える影 響の検討	日本門脈圧亢進 症学会雑誌. 2022 Jul ; 28巻2号 : 199-203	Original Article

35	倉元 達矢; 能登 義幸; 本多 忠幸	診療支援部	外傷全身CT撮影に伴う 被ばく線量調査および DRLとの比較	日本臨床救急医 学会雑誌. 2022 Aug; 25巻4号 : 704-710	Original Article
36	八木 悠太; 大久保 真 樹; 齋藤 宏 明 他	診療支援部放射線部 門	MRIにおけるT2*強調効 果の定量的評価法	日本放射線技術 学会雑誌. 2022 Apr; 78巻4号 : 357-363	Original Article
37	渡井 友也; 小林 大介; 須藤 真則 他	腎・膠原病内科学分野	関節リウマチ患者にお けるサリルマブの効果と 安全性についての検討	臨床リウマチ. 2022 Sep; 34巻3 号 : 240-248	Original Article
38	村田 雅樹; 田崎 正行; 池田 正博 他	腎泌尿器病態学分野	腎移植後妊娠9症例の 臨床的検討	日本泌尿器科学 会雑誌. 2023 Jan; 114巻1号 : 8-15	Original Article
39	村山 雄大; 有泉 高志; 生越 章 他	整形外科	臨床室 Trousseau症候 群を呈した多形型平滑 筋肉腫の1例	整形外科. 2022 Feb; : 141-143	Case Report

40	鈴木 勇人; 今井 教雄; 野崎 あさみ 他	整形外科	経験と考察 CT-based navigationを用いて設置 したセメントカップの設 置角度精度	整形外科. 2022 Oct; 73巻11号 : 1139-1143	Original Article
41	安藤 拓海; 上田 恵理 子; 渡邊 航 太 他	生体機能調節医学専 攻感覚統合医学講座 視覚病態学分野・眼科 学	黄斑円孔網膜剥離に自 然発症した上脈絡膜出 血の1例	臨床眼科. 2022 Jun; 76巻6号 : 753-758	Case Report
42	飯川 龍; 梶 野 哲哉; 坂 上 悠太 他	生体機能調節医学専 攻感覚統合医学大講 座眼科学分野	トラベクトミー術後3 日目に眼内炎を生じた1 例	あたらしい眼科. 2022 Apr; : 529- 532	Case Report
43	川田 里美; 鈴木 拓; 大 久保 明 他	摂食環境制御学講座 摂食嚥下リハビリテー ション学分野	小脳橋角部腫瘍摘出術 後の咀嚼障害に対して 筋電位バイオフィード バックを用いてリハビリ テーション介入を行った 一例	新潟歯学会雑誌. 2022 Dec; : 77-82	Original Article
44	中嶋 優太; 真柄 仁; 坂 井 遥 他	摂食嚥下リハビリテー ション学分野	舌垂全摘出術後に舌接 触補助床を用いて嚥下 訓練を行った一例	日本口腔リハビリ テーション学会雑 誌. 2022 Dec; : 48-55	Original Article

45	新美 奏恵; 竹内 涼子; 船山 昭典 他	組織再建口腔外科学 分野	Orthognathic Quality of Life Questionnaire日本 語版の信頼性と妥当性 の検討	日本顎変形症学 会雑誌. 2022 Apr;32巻1号 :15- 22	Original Article
46	須田 大亮; 長谷部 大 地; 原 太一 他	組織再建口腔外科学 分野	過去10年間の新潟大学 医歯学総合病院口腔外 科いびき外来受診患者 の臨床的検討	新潟歯学会雑誌. 2022 Dec;52巻2 号 :59-66	Original Article
47	齋藤 直朗; 丸山 智; 加 藤 祐介 他	組織再建口腔外科学 分野	口底部に生じた異所性 胃腸管嚢胞の1例	日本口腔外科学 会雑誌. 2023 Jan; :27-31	Original Article
48	加藤 奈都 美; 加嶋 克 則; 安田 麻 友 他	地域医療教育セン ター・魚沼基幹病院産 婦人科	帝王切開瘢痕部妊娠に 対しMTX局所投与を行 い、その後に妊娠し生児 を得た一例	新潟産科婦人科 学会会誌. 2022 Mar; :37-40	Case Report
49	甲田 有嘉 子; 加藤 奈 都美; 安田 麻友 他	地域医療教育セン ター・魚沼基幹病院産 婦人科	微小な成熟嚢胞性奇形 腫を伴った抗NMDAR抗 体陰性自己免疫性脳炎 の一例	新潟産科婦人科 学会会誌. 2022 Mar; :41-45	Case Report

50	棗田 学; 温城太郎; 渡邊 潤 他	脳研究所脳神経外科	髄液よりH3K27M変異が検出可能なdiffuse midline gliomaの検討	小児の脳神経. 2022 Nov; 47巻4号 : 358-364	Original Article
51	荻根沢 真也; 石原 智彦; 岩渕 洋平 他	脳研究所脳神経内科	パチシランにより早期から6分間歩行試験で改善を認めたATTRvアミロイドーシスの1例	臨床神経学. 2022 May; : 375-379	Case Report
52	寺尾 香菜; 林 良太; 横山 令 他	皮膚科学分野	Fumarate hydratase(FH)遺伝子変異が同定された多発性皮膚平滑筋腫の1例	臨床皮膚科. 2022 Mar; : 235-239	Case Report
53	木村 浄土; 富山 勝博; 阿部 崇	皮膚科学分野	【間葉系腫瘍】環状紫斑を特異疹とした成人T細胞白血病/リンパ腫の1例	皮膚科の臨床. 2022 Mar; : 357-361	Case Report
54	島田 泉; 工藤 範子; 外山 美央 他	薬剤部	オピオイドで疼痛管理不良の放射線皮膚炎にリドカイン混合ワセリンが奏効した1例	日本緩和医療薬学雑誌. 2022 Mar; : 21-24	Case Report

55	秋葉陽介; 細木真紀; 原田章生 他	冠・ブリッジ診療科	イブニングセッション報 告 歯科金属アレルギー 患者への対応: 検査, 診 断, 治療方針と他科連 携—Treatment for dental metal allergy patient: Examinations, Diagnosis, Treatment Plan and Cooperation	日本補綴歯科学 会誌 14(3):250- 258, 2022.	Original Article
56	若槻華子; 曾束洋平; 松田健	形成・再建外科	【頬部皮下腫瘍の鑑別 診断と治療】頬部に生じ る可能性のある皮下腫 瘍の局所所見 エコー・ CT・MRIによる鑑別診断	形成外科,2023 Jan.;66巻・1号:8- 20	Others
57	大滝 真由 子; 曾束 洋 平; 植木 春 香 他	形成・再建外科	クマ外傷10例の検討	日本形成外科学 会会誌43巻2号 Page60- 66(2023.02)	Original Article
58	曾束 洋平 (新潟大学 大学院医歯 学総合研究 科形成再建 外科); 松田 健; 垣淵 正 男	形成・再建外科	AIによる顔面神経麻痺 の診断-学会によるアプ リ作成に向けて- Kinect V1/V2を用いた 顔面神経麻痺評価の現 状 可能性と課題	Facial Nerve Research(0914- 790X)41巻 Page13- 15(2022.05)	Others
59	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科	総説:「第122回日本耳 鼻咽喉科学会総会シン ポジウム」加齢による感 覚器・運動器障害と認 知症: 前庭系の関与	日本耳鼻咽喉科 頭頸部外科学会 会報. 2022 Jun; 125巻6号:960- 965	Review

60	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	総説:「第123回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会シンポジウム」メニエール病の病態・診断・治療update: 鼓室内注入療法	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 2023 Jan; 126巻1号: 16-19	Review
61	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	めまいー治療と研究の最前線 新しいめまい疾患ーPPPDと前庭性片頭痛	医学のあゆみ. 2022 Jul; 282巻3号: 197-199	Review
62	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	“めまいの診療 エビデンスの限界を共有しよう” I. めまい発症のメカニズム 5. 浮動性めまいのメカニズム・特徴	救急医学. 2022 May; 46巻5号: 553-558	Review
63	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	“めまいの診療 エビデンスの限界を共有しよう” III. めまい診断・治療の実際 5. 浮動性めまいの治療	救急医学. 2022 May; 46巻5号: 621-625	Review
64	堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	高齢者のめまい 加齢性前庭障害 (presbyvestibulopathy) を中心に	日本老年医学会. 2022 Apr; 59巻2号: 131-138	Review

65	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	CT典型所見アトラス まずはこちらを診る！外耳・中耳炎－急性乳様突起炎/慢性中耳炎/真珠腫性中耳炎/悪性外耳道炎－	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2022 Apr;94巻4号: 310-314	Review
66	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	【真珠腫まるわかり! あなたの疑問にお答えします】削開腔充填 いる?いない?	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2022 Sep;94巻10号: 847-851	Review
67	森田 由香	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	カンファレンスルーム: CASE20－長期間にわたって診断されなかった PPPD症例－	Equilibrium Res. 2023 Jan;82巻1号: 54-56	Review
68	泉 修司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	【結果の読み方がよくわかる! 耳鼻咽喉科検査ガイド】聴覚検査 I.聴性脳幹反応(ABR)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2022 Apr;94巻5号: 47-53	Review
69	八木 千裕; 堀井 新	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	特集／耳鼻咽喉科・頭頸部外科における最先端研究2022「3. めまいの最新研究(持続性知覚性姿勢誘発めまいについて)」	耳鼻咽喉科. 2022 Nov;2巻5号: 581-589	Review

70	青山 陸; 本 田耕平; 小 出奈央 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外 科学分野	眼窩尖端部病変を伴っ た蝶形骨洞原発の浸潤 型副鼻腔真菌症4症例 の検討	日本耳鼻咽喉科 頭頸部外科学会 会報. 2022 Jun; 125巻6号 : 1014- 1020	Case Report
71	後藤 達哉; 宮島 美佳; 中村 将弥 他	呼吸器外科	早期非小細胞肺癌にお ける区域切除後断端再 発症例の検討	胸部外科,2023,1 号	Others
72	榛沢和彦	新潟大学医歯学総合 研究科先進血管病・塞 栓症治療・予防講座	下肢動脈血栓症予防	診断と治療 100(4),493- 499,2022	Others
73	佐藤 弘恵; 黒澤 陽一; 長谷川絵理 子 他	腎・膠原病内科学分野	高齢関節リウマチ患者 におけるサルコペニア・ フレイルの報告(第1報)	中部リウマチ. 2022 51(2): 14-21	Original Article
74	河内泉	脳研究所脳神経内科	オンライン多職種連携 教育	BRAIN and NERVE. 2022; 74・ 8: 1031-1036	Original Article

75	今野卓哉; 池内健;小 野寺理	脳研究所脳神経内科	HDLS(hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids)	脳神経内科. 2022;97・1:101- 109	Review
76	外園真規; 井田貴子; 枝並直樹 他	歯の診療科	試作全自動歯ブラシに よるデンタルバイオフィ ルム除去効果	J Health Care Dent. 2022; 23: 47-56	Original Article
77	岡田 正康	脳研究所脳神経外科	リン酸化プロテオミクス による神経軸索成長の メカニズム解明	神経科学. 2022 61巻3号:90-95	Others
78	野崎 耀平; 松田 英伸; 黒澤 史門 他	大学院医歯学総合研 究科視覚病態学分野	Nocardia arthritidisによ る播種性ノカルジア症に 合併したと考えられる内 因性網膜下膿瘍の1例	臨床眼科. 2022 Sep;76巻9号: 1233-1239	Case Report

計78件

- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 新潟大学における人を対象とする研究等倫理審査委員会規程 2. 研究等倫理審査委員会に関する標準業務手順書 3. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 1. 国立大学法人新潟大学利益相反マネジメント規程 2. 新潟大学利益相反マネジメント委員会人を対象とする医学系研究等利益相反マネジメント専門委員会細則 3. 新潟大学利益相反マネジメントガイドライン（人を対象とする医学系研究等）	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 1. 令和 4 年度 研究倫理セミナー	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の連携医療機関を循環するきわめて多彩な専門重点コースから選択ができる。また、連携医療機関とのネットワークが形成されているため、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能である。
--

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	医科96人, 歯科0人
-------------	-------------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
猪又孝元	循環器内科	教授	35年	
曾根博仁	内分泌・代謝内科	教授	34年	
曾根博仁	血液内科	教授	34年	
成田一衛	腎・膠原病内科	教授	41年	
菊地利明	呼吸器・感染症内科	教授	34年	
菊地利明	心療内科	教授	34年	
土屋淳紀	消化器内科	准教授	24年	
土屋淳紀	消化器内科	准教授	24年	
小野寺 理	脳神経内科	教授	37年	
西條康夫	腫瘍内科	教授	40年	
染矢俊幸	精神科	教授	41年	
齋藤昭彦	小児科	教授	33年	
若井俊文	消化器外科	教授	32年	
若井俊文	乳腺・内分泌外科	教授	32年	
白石修一	心臓血管外科	准教授	26年	
土田正則	呼吸器外科	教授	39年	
川島寛之	整形外科	教授	28年	
松田 健	形成・美容外科	教授	28年	
木下義晶	小児外科	教授	31年	
大石誠	脳神経外科	教授	26年	
阿部理一郎	皮膚科	教授	30年	
富田善彦	泌尿器科	教授	39年	

福地健郎	眼科	教授	39年	
堀井新	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	35年	
吉原弘祐	産科婦人科	教授	21年	
石川浩志	放射線治療科	教授	29年	
石川浩志	放射線診断科	教授	29年	
馬場 洋	麻酔科	教授	36年	
西山慶	救急科	教授	27年	
川島寛之	リハビリテーション科	教授	28年	
梅津哉	病理診断科	准教授	37年	
藤井規孝	歯科総合診療科	教授	33年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添1「2022年度キャリア開発支援研修実績」を参照（対象研修：任意研修）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添1「2022年度キャリア開発支援研修実績」を参照（対象研修：基礎研修、ラダー別研修、役割研修、看護補助者研修等）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容・研修の期間・実施回数，研修の参加人数に関して 別添2「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和4年度」を参照

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2022 RICCAキャリア開発支援研修実績

研修区分	対象	ラダー能力	研修名	ねらい・内容	企画担当	開催日	受講者数
ラダー別研修	レベルⅢ	看護実践能力	医療安全管理Ⅲ	臨床で発生したインシデント・アクシデントに対して、客観的に情報を整理して共有し、チームの一員として、システム思考で分析と対策立案ができる。	教育委員会 医療安全研修部会	8/16・8/31	112名
			倫理Ⅱ	倫理上の問題に気づき、倫理的推論ができる　ー倫理的意思決定プロセスを理解するー	教育委員会	10/18　12/14	56名
		組織的役割遂行能力	組織管理	組織と組織役割を理解する 組織論　e-ラーニング視聴　自己ワーク	教育委員会	8/5・8/9・9/2（視聴）	102名
			課題解決プロセス	論理的思考を使い、模擬事例による演習をにて学びを深める	教育委員会	10/25　11/10	79名
	レベルⅣ	組織的役割遂行能力	課題解決実践Ⅰ（旧リーダーシップ実践Ⅰ） ※ 課題解決実践Ⅱ（旧リーダーシップ実践Ⅱ） ※	実践Ⅰ：自部署のあるべき姿に対し、現状分析～課題を見出し、実践行動計画を立てることができる 実践Ⅱ：課題解決プロセスを用いて成果達成にむけた実践行動をとることができる	教育委員会	実践Ⅰ　5/18 実践Ⅱ　2/20	Ⅰ　14名 Ⅱ　15名
			※対象：令和３年5月にラダーⅢに認定され、組織管理を修了済の職員は受講可能				
		自己教育研究能力	リフレクション	リフレクション手法を学び、実践に活用できる	教育委員会	9/27　11/30	12名
役割研修	レベルⅤ	組織的役割遂行能力	看護マネジメント	看護の質改善につながるマネジメントについて理解を深める ①組織運営について　②医療・看護の質について　③組織における目標管理	看護部管理室	2/10	31名
	看護師長	組織的役割遂行能力	看護管理研修	看護管理者としての役割を遂行できる	看護部管理室	①1/26　②2/9	①30名 ②30名
	副看護師長	組織的役割遂行能力	看護管理研修	看護管理者としての役割を遂行できる	看護部管理室	2/4	77名
	エルダー	組織的役割遂行能力	エルダー研修	エルダーの役割を理解し役割を遂行できる	教育委員会	6/24	19名

研修区分	対象	ラダー能力	研修名	ねらい・内容	企画担当	開催日	受講者数
選択研修	レベルⅢ以上	組織的役割遂行能力	コミュニケーション　Ⅴ	アサーティブコミュニケーション　（外部講師研修）	看護部管理室	11/26	27名
	レベルⅣ以上	看護実践能力	倫理Ⅲ	看護実践における倫理　事例を通して倫理的推論からとるべき行動を考え、実践で活用できる	教育委員会	11/16・29	37名
			クリティカル看護 容態変化対応コースⅢ	ABCDEアプローチを使用して急変に結びつく危険な徴候を認識し、根拠を意識した看護ケアを周囲との円滑なコミュニケーションのもとに実施することができる	教育委員会	2023/2/3	19名
		自己教育研究能力	ケースレポートⅡ　（旧事例に学ぶⅢ）	事例を分析的に評価し、看護実践上の課題が抽出できる	教育委員会	①8/29 ②1/13	①8名 ②8名
			シミュレーション研修　STEPⅠ	演習を通しシミュレーション教育の理解を深めるⅠ　（シミュレーションのシナリオ作成）	教育委員会	8/26　9/16	20名
			シミュレーション研修　STEPⅡ	演習を通しシミュレーション教育の理解を深めるⅡ　（デブリーフィングガイド作成と実施）	教育委員会	11/25	13名
		組織的役割遂行能力	コミュニケーション　Ⅵ	コーチングスキル　（外部講師研修）	看護部管理室	12/10	19名
	レベルⅤ	自己教育研究能力	自部署における学習会企画と運営	1． 國人学習における継続学習の理念を理解する 2． 研修企画における基本的な考え方、手法を理解する 3． 学習ニーズに沿って模擬研修企画を立て実践する	教育委員会	11/24	14名
	全職員	看護実践能力	小児看護	小児の呼吸・循環の観察ポイント、循環の異常・正常が理解できる 小児の検査に伴う鎮静時のポイントが理解できる	教育委員会	9/28	33名
		自己教育研究能力	プレゼンテーション研修	看護研修におけるプレゼンテーションの基本について理解する	看護研究支援委員会	10/17	23名
			スタートアップ研修	1． 看護研究の意義と基本が理解できる 2． 本院における看護研究の進め方m倫理的審査方法がわかる	看護研究支援委員会	2/20～3/9　（視聴）	27名
			看護研究における文献検索	文献検索方法の基本を理解できる	看護研究支援委員会	3/13	15名

補助者	看護補助者研修	組織的役割遂行能力	看護補助者研修	・看護補助者として働く環境を知り、チームの一員としての役割が理解できる ・看護補助者業務を遂行するために必要な基本的知識・技術が理解できる ・看護補助者として患者、家族、看護職とのかかわり方について理解できる	看護部管理室	11/14・11/22・11/24	51名
-----	---------	-----------	---------	--	--------	-------------------	-----

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況：令和 4 年度

	研修名	開催日	受講人数
指導者養成	シミュレーション教育ファシリテーター養成研修 STEP I ；リフレクション手法とデブリーフィング STEP II ；シミュレーション教育のシナリオ作成	R4 年 9 月 17 日、10 月 22 日	16
基礎看護技術	A コース：採血・点滴管理コース	R4 年 11 月 16 日	2
	B コース：注射・輸液ポンプ等操作コース	R4 年 11 月 16 日	3
	C コース：在宅ケアコース	R4 年 10 月 19 日	4
	褥瘡ケア；ベーシックコース	R4 年 9 月 9 日	8
	褥瘡ケア；アドバンスコース	R4 年 10 月 28 日	8

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦	
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長 前島 一実	

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴管理室, 画像診断支援室, 電算機室	※外来, 入院とも電子媒体(一部紙媒体) ※診療録を病院外に持ち出すことは禁止しており, やむを得ない理由の場合医療情報部の判断のもと処理する。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各所掌課において管理
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者総合サポートセンター	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	各所掌部門において管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	各所掌部門において管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門	

		保 管 場 所	管 理 方 法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	各所掌部門において管理
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医事課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課	
管理者が有する権限に関する状況	総務課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長 富田善彦
閲覧担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院総務課長 島田 彰
閲覧の求めに応じる場所	医歯学総合病院内会議室
閲覧の手続の概要 様式第5の保管場所・管理方法による。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延	0	件
閲 覧 者 別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
- 指針の主な内容： 1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療安全管理委員会及び医療安全管理に関わる組織等に関する基本的事項 3 医療安全管理に関する職員研修の基本方針 4 医療安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療上の事故等の発生時の基本方針 6 患者との情報共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する基本方針 9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： 1 アクシデントの発生防止対策に関すること 2 アクシデントの発生防止に係る教育及び研修に関すること 3 安全管理の指針及び医療安全管理マニュアルに関すること 4 その他医療安全の推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
・ 研修の内容（すべて）： 1 特定機能病院の承認要件 2 本院の医療安全管理に関して（報告書確認漏れ防止対策を含めて） 3 医薬品の安全管理2022 4 医療機器の安全管理 5 医療放射線安全利用の講習 6 本院のインフォームド・コンセントについて 7 個人情報保護・情報セキュリティ 8 本院における児童虐待への対応について 9 医療安全管理表彰 ※ この他に新規採用者・復職者への研修，外部委託業者への研修を別途実施した	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 院内で発生したインシデント及びアクシデントのインシデントレポートによる報告と情報収集 2 医療安全対策の取り組みの評価，インシデント及びアクシデント事例等を医療安全管理部検討会での事例検討 3 インシデント及びアクシデント事例の医療安全管理委員会での報告，改善策の立案と実施，改善状況の検証・重大アクシデント発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 4 院内で発生した死亡・死産事例（入院・外来）の全例チェックおよび検討 5 医療安全管理委員会，同調査専門委員会における事例分析，再発防止の検討，他	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 感染に関する基本的な考え方 2 感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3 感染対策のためのすべての職員に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針 7 感染対策の推進のために必要なその他の基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1 感染対策指針及び感染対策のマニュアルに関すること。 2 感染の予防対策に関すること。 3 感染発生時の対応及び改善策に関すること。 4 感染対策に係る情報の収集及び医療従事者への周知に関すること。 5 感染対策に係る教育及び研修に関すること。 6 感染対策の実施状況の評価に関すること。 7 関東・甲信越ブロックのエイズ治療拠点病院の業務に関すること。 8 その他感染対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
・ 研修の内容（すべて）： 1 感染管理を取り巻く状況 2 今年も確認！標準予防策 3 広域抗菌薬の使用状況 4 新型コロナウイルス感染症から身を守る 5 HIV感染症とAIDS診療の基礎知識 梅毒について 6 血液培養2セット採取の重要性 感染症の診断精度を高めるために 7 抗菌薬の適正使用に向けて ※ この他に新規採用者・復職者への研修、外部委託業者への研修を別途実施した	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 薬剤耐性菌、人工呼吸器関連肺炎、中心ライン関連血流感染、外科系診療科（消化器・乳腺内分泌外科、呼吸器・心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、脳神経外科、小児外科、整形外科）別SSI、尿道留置カテーテル関連尿路感染、インフルエンザ、感染性胃腸炎、手指消毒薬の払い出し状況、手指衛生遵守状況、抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施 2 サーベイランス情報を活用した院内ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション、環境チェック） 3 細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し、迅速な感染防止対策を実施 4 感染対策基本マニュアルの作成および改訂 5 血液培養陽性となった症例の情報収集および治療に関するコメントのメール配信又は、直接的な主治医とのディスカッション 6 TDM検討会（全抗MRSA薬使用症例の情報収集及びTDMコメントを提供） 7 感染症の診断・治療および感染対策に関する相談対応 8 針刺し・切創、粘膜曝露対策、職員のワクチン接種などの職業感染対策 9 施設管理部門、清掃業者等と連携によるファシリティマネジメント	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
- 研修の主な内容： 1 医薬品の安全管理2022 ① 本院の医薬品安全管理体制 ② 本院の医薬品に関連するインシデントの現状 ③ 医薬品安全管理における周知でお願いしたいこと	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
- 手順書の作成 (有・無) - 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ① 各部署の手順書の遵守状況(評価A/B/C/D)のチェックを実施した。A評価とならなかった項目は、後日改善を確認した。 ② 医薬品にかかる院内研修、適応外・未承認薬使用の審査、医薬品安全情報の院内周知等を実施した。 ③ 手順書の改訂を行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) - 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： 未承認等の医薬品の使用は従来から使用しているものも含めて、すべて新規医療技術等管理センター(未承認新規医薬品等の担当部門)に申請があり、センターの会議で承認をされたものに限り使用している。医薬品安全管理責任者はセンターの会議に評価委員会委員として陪席をしており、未承認等の医薬品の使用事例を把握している。 - その他の改善のための方策の主な内容： 1 採用薬剤適正使用情報(Vol.137～Vol.166)の配信 当院採用薬について緊急性を要する情報が生じた場合、院内医療情報端末を利用して、メールにて配信を行っている。配信先(医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等)は必要に応じて選択して配信。 2 薬剤情報ステーションの発刊 薬剤部から2か月に1回発刊している情報誌の「安全の扉」のページで医薬品の安全使用についてトピックスを交えて情報提供している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年140回
- 研修の主な内容： 医療機器の安全使用のため、以下の機器について定期的に研修を実施している。 - 人工心肺装置及び補助循環装置 - 人工呼吸器 - 血液浄化装置 - 除細動器（AEDを除く） - 閉鎖式保育器 - 診療用高エネルギー放射線発生装置 - 診療用放射線照射装置 - その他超音波画像診断装置、血糖測定器 など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
- 医療機器に係る計画の策定 （ ☒・無 ） - 機器ごとの保守点検の主な内容： 上記②で示した医療機器について、日々の点検をMEセンターや放射線部の技術職員が行い、保守点検計画書に基づき、メーカーによる保守や定期的な点検を行っている。 なお、保守点検の実施状況・内容等は、医療機器安全管理責任者を委員長とする院内委員会にて評価を受けることとしている。 ※保守点検計画書には、医療機器名、製造販売業者名、型式、保守点検の予定時期、間隔、条件等を記載している。 また、機器台帳にて修理履歴を保管している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医療機器に係る情報の収集の整備 （ ☒・無 ） - 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 病院長を委員長とした“新規医療技術等管理センター”にて検討を行うことになっている。 また、実際に使用された場合にも、この委員会に報告することになっている。 - その他の改善のための方策の主な内容： 厚生労働省等の行政、PMDA及び日本医療機能評価機構からの通知や、各種学会等のホームページや医療機器メーカーから情報をMEセンターが収集し、該当医療機器に携わる者へ直接通知を行う。 また、院内webサーバーにも必要な情報を掲載し、院内に周知している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） 医師 ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 1 医療安全管理部長として、院内の医療安全に関する管理部門を統括する。 2 医療の安全管理体制の確保及び推進や、重大な事例が発生した場合の適切な対応策等に関する事項を審議する医療安全管理委員会の構成員であり運営を統括する。 3 医薬品の安全管理のための体制確保として医薬品安全管理責任者の実施業務、医療機器に係る安全管理のための体制確保として医療機器安全管理責任者の実施業務、さらに、診療放射線の安全利用のための体制確保として医療放射線安全管理責任者の実施業務に関し、それぞれ各専門部会の構成員となり、各責任者の業務を統括する。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（1名） ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 1 薬剤部において、院内の医薬品使用状況の定期的（月一回程度）な確認及びその結果を踏まえた添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報の報告 2 薬剤部からの報告をもとに、当該情報に係る医薬品の使用実績のある診療科等のみならず院内全体に医薬品の適正使用のための注意喚起情報の周知 3 全部署のリスクマネジャーが出席するリスクマネジャー全体会議においても改めて医薬品の適正使用のための注意喚起情報を周知し、リスクマネジャーは自部署職員への周知が完了した旨を報告書として提出してもらうこととしており、全部署からの周知完了報告書の提出をもって確認 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 1 薬剤部において、医師等の処方した薬剤の使用が、未承認医薬品、若しくは適応外又は禁忌等の使用（以下、「未承認等の医薬品の使用」という。）に該当するか否かの把握 2 未承認等の医薬品の使用について審査する委員会承認されていない場合で処方の妥当性が確認できない場合、主治医へ疑義照会の上、薬学的知見に基づき、処方の必要性や論文、ガイドライン等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性等の確認と事後に把握した適応外使用医薬品に係る処方の妥当性等の確認と処方した医師等へ処方の変更等の提案 3 薬剤部からの報告をもとに、未承認等の医薬品使用の把握の状況の定期的な確認と必要に応じた当該把握方法の見直し、及び必要に応じて医師等に対する指導等と院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報の共有 ・ 担当者の指名の有無（☒ 有 ・ 無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：1 患者が内容を十分理解できるような文書を用いた医療者からの説明が行われているか、また、患者の明確な文書による意思表示は行われているかについて、インフォームド・コンセントの定期的な監査を実施している。監査結果に基づき、院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。	

2 インフォームド・コンセントに関する基本方針，インフォームド・コンセントの実際（説明を行う際の同席者，標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法などの留意事項），インフォームド・コンセントの取得フローチャート，インフォームド・コンセントを必要とする医療行為，同席を要する医療行為等の規定を定めている。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 1 診療録監査委員会内規に基づき，年2回診療録監査を実施し，院内会議及び研修会を通じて職員に周知及び改善指導をしている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（24）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（2）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 1 医療安全管理委員会に係る運営及び事務 2 アクシデント又は病院長が必要と認める事象（以下「事象等」という。）が発生した場合は，事象等に係る次に掲げる事項 イ診療録その他診療に関する記録の確認 ロ患者又はその家族への説明 ハ発生原因の究明 ニその他対応状況の確認 ホ職員に対する必要な指導 3 医療の安全管理に係る教育，研修及び連絡調整 4 医療の安全確保に資する診療の状況把握及び対策の推進 5 職員の医療の安全に関する意識向上の状況確認 6 医事紛争及び医療訴訟の対応 7 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく医療安全確保のための業務改善計画書の作成並びに作成した業務改善計画書に基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録 8 医療安全管理委員会との連携状況，院内研修の実績，医療安全対策に係る患者等の相談件数及び相談内容，相談後の取扱い並びにその他の医療安全管理者の活動実績の記録 9 医療安全管理部検討会に係る運営及び事務 10 その他アクシデントの発生防止及び医療の安全性の向上に関し必要な事項 ≪モニタリング項目≫ 1 周術期肺血栓塞栓症 ① 手術症例 DVT/PTE 予防アセスメント施行率 ② 手術例における肺血栓塞栓症予防管理料算定率 ③ 1万手術あたり周術期肺血栓塞栓症発生率 2 入院患者の転倒転落 ① 入院患者 1,000 人日あたり転倒・転落発生率 ② 入院患者 1,000 人日あたり転倒・転落発生後外傷（レベル 3a 以上）発生率 3 中心静脈カテーテル挿入（とくに挿入時の医原性気胸） ① 中心静脈カテーテル穿刺挿入報告書提出率 ② 内頸静脈穿刺における気胸発生率 ③ 鎖骨下静脈穿刺における気胸発生率 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（11 件）、及び許可件数（10 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1 高難度新規医療技術の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 高難度新規医療技術の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 新規医療技術等の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 4 新規医療技術等の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その新規医療技術等の手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他新規医療技術等の実施の安全性の確保に必要な事項
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（28 件）、及び許可件数（27 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の申請に係る具体的な申請基準に関すること。
 - 2 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の適否の決定に関すること。
 - 3 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後の定期的な手術記録、診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 4 未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施後に患者が死亡した場合又はセンターが定める水準以上の事例が発生した場合において、その未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の診療録等の確認による手続きの適正さの検証に関すること。
 - 5 その他未承認新規医薬品等及び適応外・禁忌使用による医療の実施の安全性の確保に必要な事項。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 345 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及

び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 141 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 1 院内における入院・外来全死亡（死産含む）症例について、医療安全管理部でリストアップを行い、事例件数の報告及び事例検証を実施
- 2 院内の入院患者における全死亡・死産症例について、主治医・担当医に報告することを義務化し、報告実施状況の確認及びその結果について報告
- 3 重大な事例が生じた場合、速やかに原因究明のための調査及び分析、分析結果を基に改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知、方策の実施状況の調査及び必要に応じ方策の見直しの実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（☒（病院名：愛媛大学医学部附属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒（病院名：京都大学医学部附属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

「医師 GRM、薬剤師 GRM とともに、職務を兼任しており、業務が過多になっているように見受けられた。今後、質の高い外部調査委員会を維持するためにも、人員の増員等、両者の負担軽減が必要と考えられた。」との助言を頂いた。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの医療安全管理に係る相談等に対し、対応できるよう窓口を常設している。また、院内掲示により設置場所、担当者、責任者及び対応時間等を患者等に明示している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

令和 4 年度の医療安全管理研修会において、インシデント、アクシデント報告の流れ等の医療に係る安全管理のための基本的な事項、及び医療安全管理に係る具体的な事例の改善策、高度な医療を提供するための多職種連携に必要な知識及び技能、特定機能病院として取り組むべき医療安全管理に関する事項等について、管理者、医療安全管理責任者等による医療安全管理研修会及び医薬品安全管理研修会並びに医療機器安全管理研修会を実施し、e-ラーニングを用いて学習効果を測定し、院内会議を通じて職員にフィードバックした。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、日本医療機能評価機構が開催した令和 4 年度特定機能病院管理者研修を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善

のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価について、書類審査及び令和元年 11 月 27 日～29 日に訪問審査を受審し、令和 3 年 1 月 4 日付けで認定証の交付を受けた。

認定期間 2019 年 12 月 20 日～2024 年 12 月 19 日

認定発行日 令和 3 年 1 月 4 日

認定病院種別及び番号

主たる機能：一般病院 3 認定第 GB146-5 号

副機能：精神科病院認定第 GB146 号

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

なし

・評価を踏まえ講じた措置

なし

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 1. 医師法に基づく医師免許証を交付された医師であること 2. 学識に優れ、教育研究、診療及び病院経営に識見を有し、かつ、管理運営能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者 ① 医学博士又は博士（医学）の学位を有し、教授相当の十分な業績を有する者 ② 総合病院において病院長、副病院長、診療科長、中央診療部門長もしくは同等職の経験を有する者（当該病院内外での組織管理経験が含まれること。） ③ 様々な医療環境の変化に対応しながら、強いリーダーシップを持って病院運営及び経営にあたる意欲がある者 3. 医療安全管理業務を経験し、医療安全の確保に必要な資質・能力を有する者で、以下の基準を全て満たす者 ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務経験を有する者、又は医療安全管理委員会もしくは同委員会に準ずる委員会の構成員であった者 ② 医療安全管理業務経験を踏まえ、医療安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 ・ ☒ 無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ ☐ 無 ） ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	特別の関 係
澤村 明	新潟大学 理事・ 副学長	○	学長が指名する理事 （選考委員会規程第3条第1号）	☒ 有 ・ ☐ 無
土田 正則	新潟大学 医歯学		学長が指名する医科系運営会議及	☒ 有 ・ ☐ 無

	総合病院 副病院 長		び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第 3 条第 2 号)	
多部田 康一	新潟大学 医歯学 総合病院 副病院 長		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第 3 条第 2 号)	☒ ・無
福地 健郎	新潟大学 医歯学 系 教授		学長が指名する医科系運営会議及 び歯科系運営会議の構成員 (選考委員会規程第 3 条第 2 号)	☒ ・無
染矢 俊幸	新潟大学 医学部 長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第 3 条第 3 号)	☒ ・無
井上 誠	新潟大学 歯学部 長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第 3 条第 3 号)	☒ ・無
小野寺 理	新潟大学 脳研究 所長		学長が指名する医歯学総合病院運 営協議会委員のうち新潟大学に所 属する者 (選考委員会規程第 3 条第 3 号)	☒ ・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新潟 県医師会 会長		学外の有識者：県医師会長として、 医療・保健・福祉全般に豊富な知 見を有する(選考委員会規程第 3 条 第 4 号)	有・ ☒ 無
中村 洋心	新潟県福祉保健部 部長		学外の有識者：県の医療に係る担 当者として、医療・保健・福祉全 般に豊富な知見を有する(選考委 員会規程第 3 条第 4 号)	有・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			☒ ・無
・合議体の主要な審議内容 ・医歯学総合病院（以下「病院」）の運営方針に関する事項 ・病院の中期目標・中期計画に関する事項 ・病院の予算及び決算に関する事項 ・病院の教員の選考に関する事項 ・病院の組織に関する重要事項 ・病院の教育・研究及び診療に関する重要事項 ・その他病院の管理・運営及び経営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 ・医科系及び歯科系運営会議及び連絡会議において周知。 ・院内会議システム（Web）にて会議資料を随時閲覧可能 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・☒ ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
富田 善彦	○	医師	病院長
土田 正則		医師	副病院長
多部田 康一		歯科医師	副病院長
猪又 孝元		医師	副病院長
大内 章嗣		歯科医師	副病院長
若井 俊文		医師	副病院長
鳥谷部 真一		医師	副病院長

菊地 利明		医師	副病院長
白砂 由美子		看護師	副病院長・看護部長
前島 一実		副病院長（事務部長）	副病院長・事務部長
堀井 新		医師	病院長補佐
瀬尾 憲司		歯科医師	病院長補佐
川島 寛之		医師	病院長補佐
外山 聡		薬剤師	薬剤部長
金澤 勉		放射線技師	医療技術部長
小野寺 理		医師	病院長特別補佐

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表
- ・ 規程の主な内容
新潟大学医歯学総合病院規程第3条において、「病院長は、病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括し、第12条の規定により設置する新潟大学医歯学総合病院運営委員会が審議した病院の管理及び運営に関する重要事項に関し、その決定に関する権限と責任を有するものとする。」と規定。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
新潟大学医歯学総合病院規程第4条及び5条において、副病院長を置くこと及び病院長特別補佐、病院長補佐を置くことができることを規定。
副病院長の役割は、病院長の職務を助け、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名する副病院長が、その職務を代理するほか、各副病院長に「総括」「歯科総括」「企画戦略（研究・医療連携）」「企画戦略（医科歯科連携）」「診療・病院機能」「医療安全」「感染管理・教育」「看護（地域連携）」「総務・財務」の各担当を命じている。
病院長特別補佐の役割は、病院の管理運営に関し、病院長に助言等を行うものとする。また病院長補佐の役割は、病院長が諮問又は指示した事項について、調査、企画・立案するとともに、その実施に関して病院長の職務を補佐するものとするほか、各病院長補佐には「病院機能強化（医科）」「病院機能強化（歯科）」「医療連携全般」を命じている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
全国会議、関係機関が主催する担当者研修会等に参加。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					☒ ・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容：医療安全管理責任者の業務、医療安全管理部門の業務、医療安全管理委員会の業務、医薬品安全管理責任者の業務、医療機器安全管理責任者の業務、医療放射線安全管理責任者の業務、及びその医療安全管理全般に関する業務についての監査を実施。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 公表の方法：新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
月岡 恵	元 新潟保健所 長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ ☒ 無	1
佐藤 信昭	新潟県立がんセンター新潟病院		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ ☒ 無	1
三部 正歳	りゅーと法律税務会計事務所		法律に関する識見を有する者	有・ ☒ 無	1
西田 眞吾	新潟大学理事		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	有・ ☒ 無	2
田代 文俊	新潟大学監事		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	☒ ・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
本学監査室において、本学の業務及び会計処理の状況について、適法性及び合理性の観点から調査及び検証を行い、適正かつ効率的な運営を確保するための内部監査を実施。
- ・ 専門部署の設置の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院運営協議会において、運営方針に関する事項、中期目標・中期計画に関する事項、予算・決算に関する事項、教員の選考に関する事項、組織に関する重要事項、教育・研究及び診療に関する重要事項、その他管理・運営及び経営に関する重要事項について、病院長に報告させ、業務を監督する。 ・ 会議体の実施状況（ 年1回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年1回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：新潟大学医歯学総合病院運営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
澤村 明	新潟大学 理事・副学長	○	☒ 有・無
染矢 俊幸	新潟大学 医学部長		☒ 有・無
井上 誠	新潟大学 歯学部長		☒ 有・無
小野寺 理	新潟大学 脳研究所長		☒ 有・無
堂前 洋一郎	一般財団法人新潟県医師会 会長		有・ ☐ 無
中村 洋心	新潟県福祉保健部 部長		有・ ☐ 無
荻野 構一	公益社団法人新潟県薬剤師会 会長		有・ ☐ 無
鈴木 幸雄	新潟県三条地域振興局健康福祉環境部 部長		有・ ☐ 無
河原 和夫	医療法人社団 崎陽会 日の出ヶ丘病院 院長		有・ ☐ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年 1 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法 ・ 新潟大学医歯学総合病院ホームページ内で公表 ・ 職員向け「医療スタッフマニュアル」

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ・ 本院ホームページ及び各診療部門のホームページにより診療内容や医療サービスについて情報発信している。また、本院ホームページにおいて、閲覧者が見やすく、分かりやすい掲載にリニューアルを予定している。 ・ 診療案内冊子を毎年作成（更新）し、県内全医療機関へ送付している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ・ 腫瘍センター及び腫瘍内科を中心に、複数の診療科が連携して平成25年1月から「キャンサーボード」を開催している。平成26年度からは必要に応じて病理医が病理組織を供覧している。 ・ 医療連携口腔管理治療部が介入し、入院患者の周術期口腔機能管理の医科・歯科連携強化を進めている。	